

6543 15-4-1

緑丘

1965 Vol. 2
No. 44



小樽商大
同窓会誌

緑

丘

(40)



新発売——セン抜き無用



●日本ではじめての〈王冠革命〉

スポン/と手で豪快にあけて下さい。もう、セン抜きなんか要りません。日本のビール界ではじめての画期的な大発明を、サッポロがやりました。〈ワンタッチ・クラウン〉 小さなうばがついた現代の王冠です。

●このびんがストライク型です

どこもムダのない、ひきしまったスタイル。モダンでハンディでユーモラスで、かっこいいストライクびん。

●さわやか、味の直球ストライク

北緯45度がビールの本場。ミュンヘン・サッポロ・ミルウォーキー。その本場のサッポロストライク。瞬間殺菌法の新鮮な味が、直球でしみわたります。スポン/と手であけて下さい。

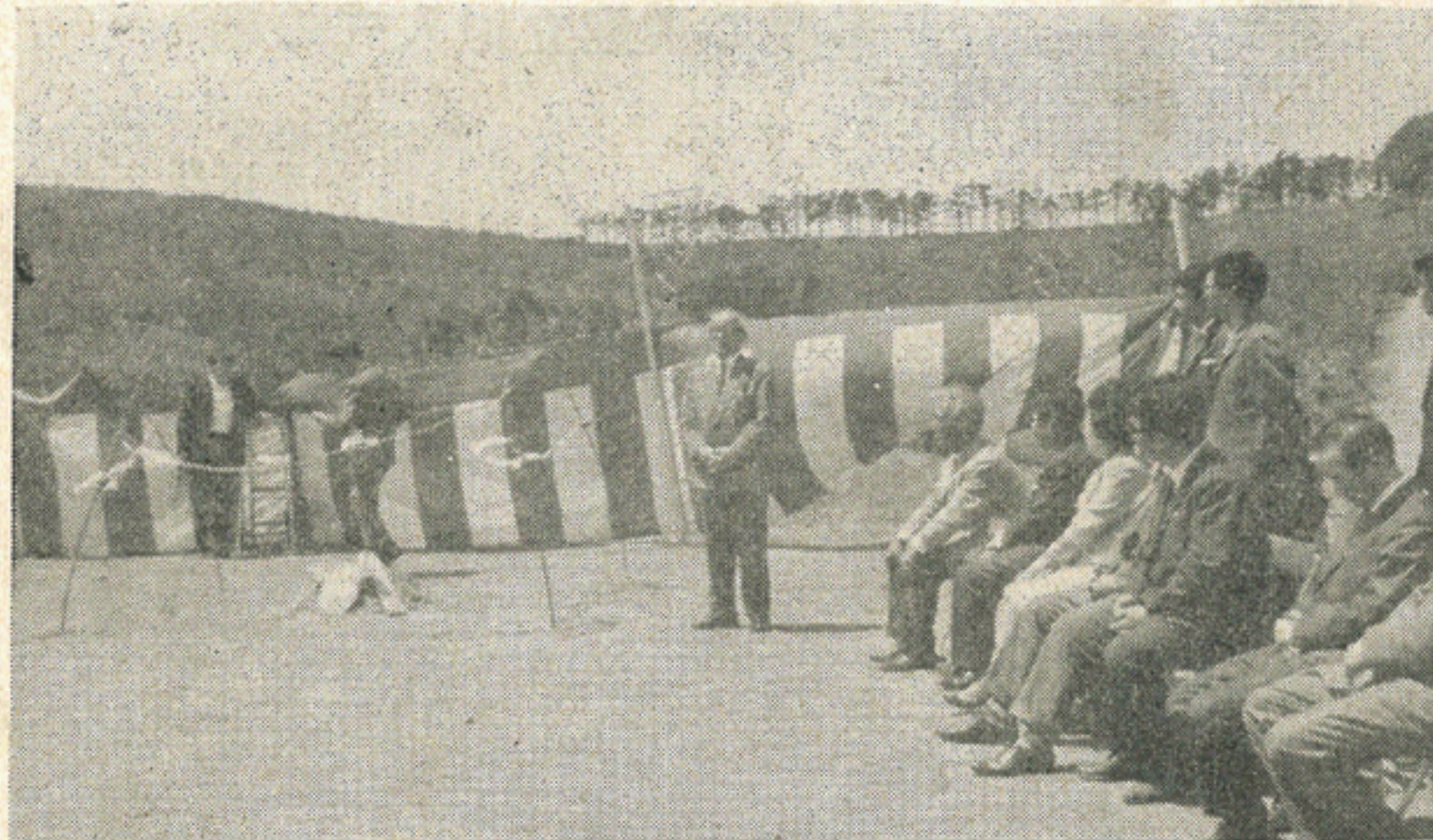
●サッポロストライクあけかた3態



★サッポロ ストライク

多喜二碑起工式おこなわる

小=樽=市=旭=展=望=台=で



多喜二碑起工式の加茂学長（中央）着席左から本郷新氏。佐藤チマさん夫妻

緑丘

全 国 版

(通巻)No. 44号
(40年度 2号)

(編集責任者)

大阪市東区道修町三の一
塩野義製菓株式会社内
藤 目 英 三

(緑丘大阪支部)

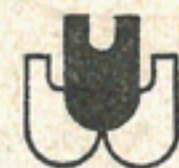
大阪市北区梅田八番地
新阪急ビル 8 階
サッポロビル(株) 内

かねてから各方面よりの御協力を
えて運動をすすめていた小林多喜二
碑の起工式が、五月二十八日午前十
一時より、小樽市旭展望台のかたわ
らの建設予定地でおこなわれまし
た。起工式には、発起人代表の加茂
学長、安達小樽市長代理、多喜二の
姉佐藤チマさん夫妻、制作者の本郷
新氏ら、約三十名が参加、春とはい
えまだ風寒い山頂で簡素ながらも
厳しゅうにすすめられました。開会
のあいさつのち、期成会事務局長
の浜林教授から経過報告があり、発
起人を代表して加茂学長があいさ
つ、つづいて関係者が献入れをし、
本郷氏から碑の構想と抱負が語られ
佐藤夫妻のあいさつのち、多喜二
の代表作の一つである「転形期の人
々」の冒頭の一節が朗読され、式を
終わりました。本郷氏は基礎工事が
終わったあと、七月中旬ごろから小
樽へ居をうつし、この碑の制作に専
念することになっています。

なお碑の除幕式は十月九日の予定
で、碑の完成を記念して、伊藤整氏
らによる記念講演会、多喜二ゆかり
の場所をめぐる歩く文学散歩、旧友
を中心とする多喜二を偲ぶ懇談会、
名土の色紙展など、多彩な行事が予
定されています。

募金は現在まだ一二〇万程度で、
目標の三〇〇万を達成する一応のメ
ドはついていますが、今後とも各位
の御支援を切に願います。次第で
（期成会事務局長 浜林）

広告マツクと美術印刷・紙工品

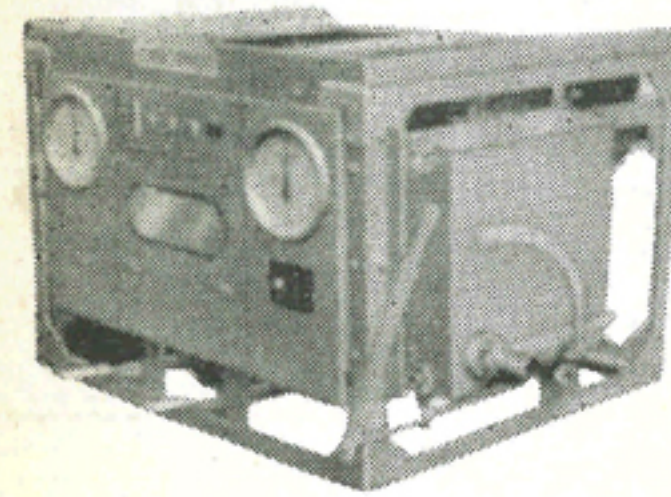


株式会社 三優社

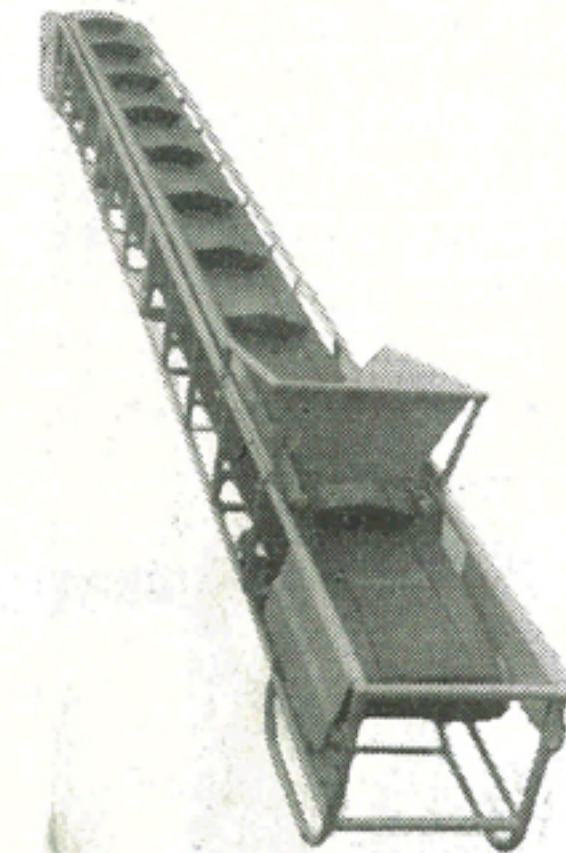
京都市下京区寺町通松原下ル
TEL. (35)0271・4950・7713
取締役社長 山村太兵衛 (昭12)

是非一度皆様からの御用命を……特別奉仕

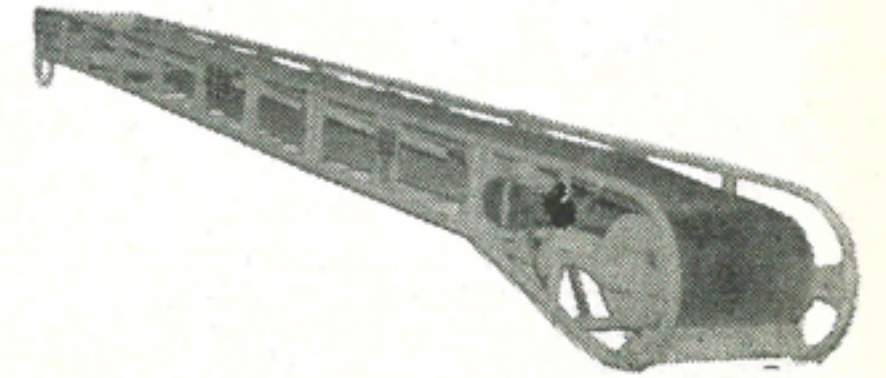
KYC 建設機械



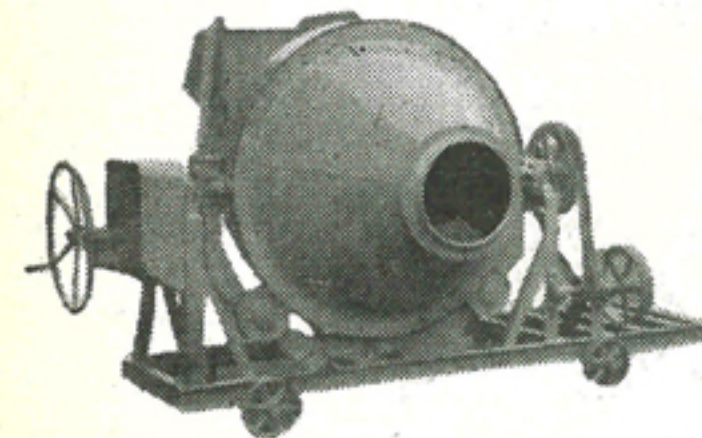
バッチヤースケール



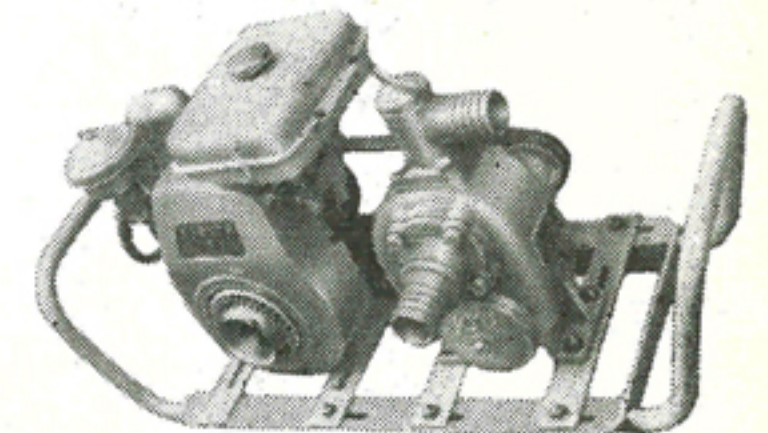
ニュークライマー



ベルトコンベヤー



コンクリートミキサー



自吸式ポンプ

営業品目

- | | |
|----------------|--------------------|
| K.Y.C.コンベヤー 各種 | K.Y.C.ミキサー 各種 |
| K.Y.C.スケール 各種 | K.Y.C.モータープーリー 各種 |
| K.Y.C.ポンプ 各種 | K.Y.C.バッチャープラント 各種 |

総合建設機械のトップメーカー

KYC 光洋機械工業株式会社

取締役社長 奥村正美 (昭17)

- | | | |
|--------|---------------------------|----------------------------|
| 本社 | 大阪市北区南同心町1丁目12番地 | 電話大阪(55)3091~5 |
| 大阪営業所 | 大阪市北区末広町12番地 | 電話大阪(351)2039・(358)6531番 |
| 東京営業所 | 東京都千代田区神田鎌倉町6番地 | 電話東京(252)2012・(254)5601~5番 |
| 上野営業所 | 東京都台東区東上野1丁目20番地 | 電話東京(832)8819・8820番 |
| 福岡営業所 | 福岡市中浜口町19番地 | 電話福岡(2)4161~4164番 |
| 広島営業所 | 広島市東平塚町2番12号 | 電話広島(41)6525・8435番 |
| 関西出張所 | 大阪市北区末広町12番地 | 電話大阪(358)6532・6533番 |
| 近畿出張所 | 大阪市北区末広町12番地 | 電話大阪(358)6532番 |
| 高松出張所 | 高松市塩上町1181番地 | 電話高松(3)4392・2771番 |
| 鹿児島出張所 | 鹿児島市加治屋町16の10番地 | 電話鹿児島(2)3055番 |
| 名古屋出張所 | 名古屋市東区堅代官町14番地 | 電話名古屋(94)1315・2860番 |
| 富山出張所 | 富山市豊川町1番1号 | 電話富山(2)6505・2379番 |
| 仙台出張所 | 仙台市北2番丁83番地 | 電話仙台(25)4441~3番 |
| 札幌出張所 | 札幌市南11条西8丁目541の2 | 電話札幌(25)9868・(26)7964番 |
| 工場 | 寝屋川工場・守口工場・吹田工場・枚方工場・所沢工場 | |



多喜二碑建立鋤入式の朝

越崎 清二

目のさめるような新緑のなか、落葉松の濃紺が一きわ目立つ朝の松山道遙道路、五時半頃自宅を出て展望台へ登る。突端から約一五〇米上の台上に多喜二碑と文字を入れた赤い杭が立ちその裏側に多喜二の文学は抑圧され、しいたげられている者をはげまし、元気づける。多喜二の功績をたゞえ、彼の生れたこの地に碑を建立する。一九六五・五・二八と記されてあった。今日はその日。

(カット 越崎清二)

小林多喜二特集号を読んで

広い場に出た小林

中野 重治 (作家)

今度の特別号(小林多喜二特集)はいろいろの意味で大切なものになると思います。小林がいつそう広い場に引き出されたことが重要なように思います。

多喜二葬儀の日

石部 敏雄 (大一一)

小林多喜二といえば、私が馬橋三丁目の青田さん通り(家人がそう呼んでいましたが、第三回卒業の青田滝蔵氏邸のある通り)に住んで安田生命保険会社に通勤していた頃の或

感ずるまゝに

有我 栄一 (昭八)

小林多喜二特集号によせられました心こもる数々の御寄稿を、しみじみと深い感慨を以て拝読いたしました。今後折々、当時の時代相を反省するために、ひもどいてみる積りです。この本は、昭和初期の封建的日本の悲惨なる歴史的资料として、後世に伝えるためにも、末長く保存いたします。封建的思想の残渣が、なかなか拭い切れない、しかもヒューマニズム

の芽が容易に伸び得ない日本において、小林多喜二なる人物の生涯を通して、虐政期の昭和初期の実相を体感することができ、今後の日本の精神的風土の育成が如何に急務であるかと痛感いたします。虐げられたる庶民大衆のために、義憤やる方なく、様々の角度から筆を執った小林多喜二なる清純無垢の青年に対する当時の特高共の、残忍非道なる所行、憎みても余りある次第、いまはただ故人の霊に対して瞑目合掌するのみです。

加茂学長は「自分のくるしみのみでなく、他人のくるしみにも徹することができれば、お互いの愛憎は克服される」、「あゝの戦死学徒も、有限な人間の肉体をすべて超越して永遠の世界に生きた人々である」、「あゝの若人らを私は永遠に忘れることのできない人々と心の中に捉えなくてはならない。これは、あの若人たちを、無駄死にしてはならないからである。私はあの若人らに思う度に何のためにあの若人らが死んでいったかを、つねに反省する。」「との御言葉は、厳肅、心にせまり、われわれの胸をしめつけ、われわれの後世に対する最大の遺産たるべき「よりよき国家」の建設に対する責務を喚起して下さったものと存じます。

五月四日の北海タイムスの反鶴自戒欄に黒沢西蔵さんが「旧資本主義は、古い社会秩序の、かくれみのに隠れて、弱肉強食を当然と考えた。これが増長して、権力と結び、庶民大衆を合法的に搾取した。」「と書いておられた。

名門校といわれて

本間 広松 (昭八)

これが、多喜二をして筆を執らしめるに至った、昭和初期の時代相であつたことは真違いない。われわれは、二度とこのような圧制と搾取を再現せしめてはならない。小林多喜二の聖霊よ、永遠に安かれと祈るのみ。よりよき後世を築くため、全人類の精神革命を冀いつ、……。(北海道庁商政課)

名門校といわれて同窓生の先輩、後輩の皆様、この特集が出るまでの

労働的な事もさる事乍ら、緑丘の編集に資金的な心配をかけない方法と恒久的な方法をお考え頂けないものでしょうか。

昭和八年同期生には鈴木三七君が積極的に「緑丘」購読のすゝめを、機会あるたびに全国の同期に呼びかけ、ついに七〇%の愛読者を、大正一四の畑信太郎さんは自分の他に同期三人分を申込んで「緑丘」の愛読者を確保されております。墓目君の苦勞を知っている人は関西ばかりでなく全国に居られましょう。

速く離れた親に対して何時もどうしているか、何か送ってやらうかとの孝心は持つて居りながら、実行が出来ないように「緑丘」のことも思いながらついでに「緑丘」のことも「緑丘」の永続を願うためにも同窓の皆様が名門校の出身者らしく、愛読者になつていただき、愛読者になられた方は畑先輩の如く一人で三人分の愛読者を確保してやうて下さいとねがうのは無理なお願いでしょうか。(神戸海陸産物貿易同業組合)



日立商品特約店

日本電気機器株式会社

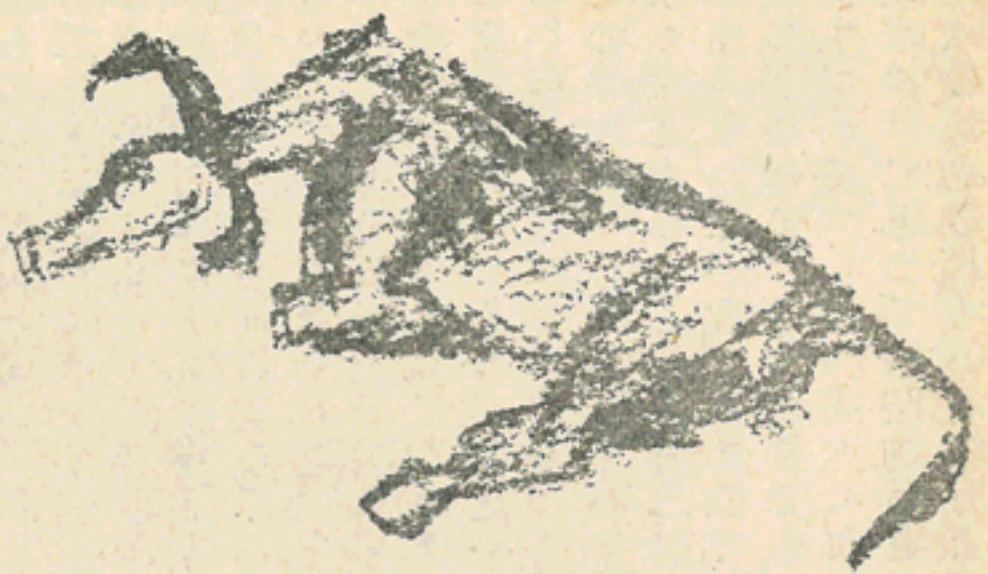
取締役社長 天野 雅 司 (大正15年)

本社 サクラバシ日立シヨーストール

大阪市北区曾根崎新地2丁目50番地

電話大阪 (361) 8871 番 (代表)

大阪 (361) 4602 番 (夜間専用)



ベトナムの惨状

有我栄一 (昭八)

いま、ベトナムにおける惨状を察するに、旧仏領がアメリカにパトンタツチされ、戦禍の拡大に並行して一部の上層階級の軍需株の維持温存に役立つと見え考えられる。アメリカの派遣兵の胸奥を読む時に、アメリカという巨大なる資本主義国における兵隊という名の哀れなる奴隷の姿を目に浮べるのである。資本主義が勝つか？共産主義が勝つか？それは、どうでもよい。世界の人の良心を毎日毎日傷めつけている双方の主義(何れも帝国主義的兼官僚主義的兼保身主義?)のくだらぬ争い：所詮は、封建的我田引水主義である：の仮面にかくれた非人道主義を捨てられよと敢ていいたい。

である。人類よ、人間と猛獣と、この心はどこが違うのか。背広を着、車乗り廻して、自らの魔性を自潮するよ。下劣な根性をカナグリ棄て去れよ……。然らずんば、天の鉄鎚は、神の御心に叶わぬ諸々の悪魔的人間達を、未来永劫に亘って、無限地獄の苦しみに喘がせるであろう。天の使は叫ぶであろう！如何なる国際的暴力といえども、私の前に来れ、来って神の裁きと許しを受けよ。然らざれば、御身等に内包する良心は日夜御身を苛んで果しもなくその罪業の深さを覚らしめるに至るだろう。

無恥なる者よ、ハジを恐れ、愚かなる小心者よ、心を大きく持ち、神の智慧を求めよ。あ、何と、我が正しき心身の前に、誰か遮り得るものがあるべきか。正義の意味は、深くして大きく、恰かも果しなき曠野の如くに擱

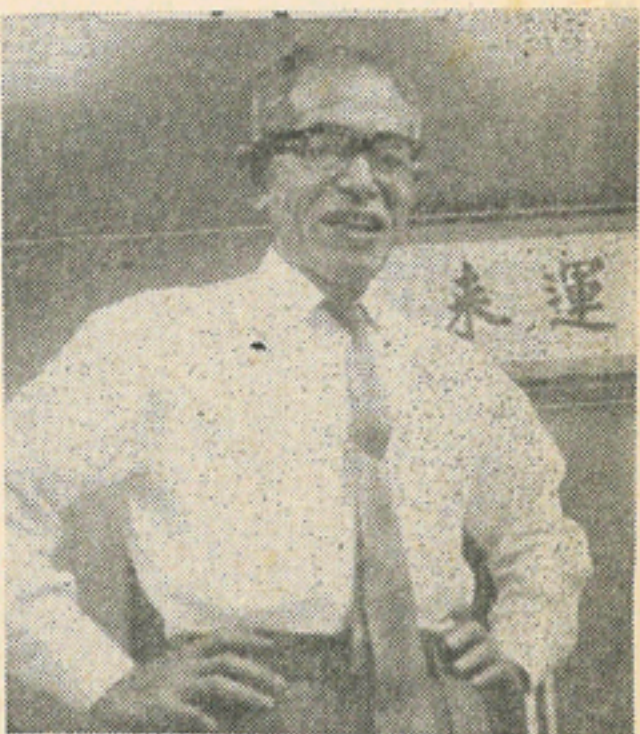
みがないのである。だが、しかし、極めて簡単な鍵、即ち、より大いなる人類愛を体得した時においてこそ、その本当の意味を知り得るのだ。封建世界よ、サヨウナラ。私はこの地球の全ての封建社会と、その制度を破るべく、今後共、人間の心が泥にまみれた時に限って、全速力を以て、あらゆる悪と罪とを亡ぼすために突進する……と。

(一九六五・五・二七)

椎名哲学

若山 永太郎 (昭一三)

椎名幾三郎先生には、いつも緑丘会の諸会合に、ゲストとして御出席戴いて居る。会合席上で時々御話を承る度に、仲々ガンテクのある種々の処世上の勉強になる貴重な教訓が含まれて居



椎名先生

昨年十一月に出された本誌の「戦歿学生特集号」にも、私は先生から承った関西学院大学の戦歿学生の墓地のことを書いた次第である。去る六月十一日神戸支部の定時総会に、私も出席させて戴いたが、其の席上、椎名先生から承ったスピーチが、これまた大変な感銘を受けたので、同窓各位に御披露申し上げたい。

椎名先生の御話の要旨は次のようであった。椎名先生が一橋大学卒業の年、小樽高商初代校長渡辺龍聖先生から、小樽に教授として来てほしいとの勧誘を受けた。

其の時の状況は、東京の宿舎に椎名先生を招いて、床の間を背にした上座に座蒲団を敷いて、坐らせられた。そして、あの有名な大渡辺龍聖先生が、畳に両手をついて、是非小樽高商に来てほしい。待遇も充分考慮するからと懇願された。椎名先生は本当に恐縮した。しかし、椎名先生としては待遇など全然問題にして居なかつた。自分の未熟を感じていた先生としては、大学にあと数年間

入道雲

三谷 晃一 (昭一七)

おなじみ、入道雲。
カンカン照りの路上で
ふと気づいたら
もうまさしく盛夏だ。
優雅な城のようにもみえ
つまりは水蒸気の固まりだと

とどまり、さらに保険学を専攻したい旨を申し上げて御辞退申上げたそうである。

その時渡辺先生は「先生というものは、生徒より一日の長があればよいのだ。明日教えることを今晚勉強すればよいのである。貴君は充分にやって行けると思ふから、是非とも来て欲しい」と申されて、一歩も引かない態度である。しかも追打ちをかけるようにして「貴君が来てくれれば、私は二、三年の内、外国に留学してもらおう積りだから、是非来てくれ」と重ねて懇願された。椎名先生の胸の中では

「渡辺先生が、ボケツトマネーで私を海外に留学させるなら、いま先生のおっしゃられるようにいわれてもよいと思うが、官費で私を留学させるというのであれば……」そこで、「海外に留学させるかどうかは、椎名を二、三年見て戴いてから、これなら海外留学の値打ありと認めてから決めて下さい。どうでしょうか？」

これに対しては、流石の龍聖先生もグウの音も出なかつたと共に、ますます以って椎名先生にホレ込んでも、椎名がウンというまで頑張るとまで申されたので、遂にクドキ落されたというのである。

現代の世相と比べて何んたる違いであるか……。如何にも椎名先生の面目躍如たるよい御話ではないか。まさしく椎名哲学である。椎名先生の御話はまだ続きがある。

先生が小樽から大阪商大に御転勤の一クダリである。当時先生としては、小樽高商教授としては何の不満

かんがえてもみたが入道雲は入道雲。

いくつになつても山にゆきたい。海にゆきたい。カンカン照りの路上でひたひたの汗をぬぐいながらしばし入道雲にみとれた。

も不足もなかつたそうである。冬は北海道のスキーを楽しみ、春はスズランの花をめで、小樽から庁立出の御夫人をおもひになり、若い青年教授として結構楽しかったそうである。

ところが突如として、大阪商大から招へいの勧誘を受けた。もちろん先生は断乎おことわりした。

ところが当時の大阪商大長河田嗣郎先生から、小樽の当時の学長伴先生宛に、長文の電報がきて、河田学長が直々椎名教授を説得のため、北海道まで出掛けるとのことであった。これには伴先生大恐縮、わざわざ河田大先生が北海道まで来るとまで申される程の御執心ならば椎名の将来の爲にも、と本件了承、円満に大阪商大に移られたとのことである。

これもまた椎名哲学といふたい。私は、椎名先生の御話を承る度に何かを教えられ、胸打たるものがある。(丸嘉機械専務取締役)

地下鉄

宮地 邦介 (大一一)

私は毎朝地下鉄を利用して会社へ出勤する。普段はユックリ出掛けるのでたいていは座席が空いている。

時たま所用があつてラッシュ時に掛ける場合は大変である。地下のホームは押すな押すなの人だかり、一応三列縦隊で待っているが、電車がホームにすべり込んで来ると、乗客はわれ先にと車内へ殺到する。もちろ

るん私は若い人達と争つてまで座席を取らうとは思はないし、また、たとえラグビー選手よろしく戦つても取れるものではない。漸く吊皮にブラ下つて立っているのが関の山である。第一十分間かそこら座るためにそれ程迄に争わねばならぬとは馬鹿の骨頂である。

こう申上げると地下鉄は如何にも不愉快極まる修羅場のようなだが、さ

にあらす一旦電車がすべり出すと、正に外界を離れて天国となる。こゝに一例を申し上げよう。ある朝吊皮にブラ下つて立っていた私の前の座席に居た四十がらみの紳士が私を見たりスックと立ち上つて、いとも鄭重に「どうぞ御掛け下さい」といって席を譲ってくれた。ハテ私の知人かと思つたが、そうでもない。近頃珍らしい御人だと感謝しながら、更めて件の紳士へ目礼して、その席へ掛けさせて貰つた。さて私座りながら考えた「ハテ俺は四十代の人様から老人扱いはされるように老けこんで見えるか知らん」と、そう考えたら非常に佻びしい気持になつた。年寄のヒガミか知らん。また考えた「こんな御親切な方はそうザラにおられるものではない。こんな人情の花咲くところ地下鉄なればこそであり、自家用車通勤の人達には味わえぬ醍醐味かも知れん」と。とにかく地下鉄は思索の場所としてふさわしい所、僅か十分かそこらの時間だが、外界を離れて自分の存在を見つめながら、車中色々考えることが出来る。その日一日の行動計画も地下鉄で産まれる場合が非常に多い。

さらに地下鉄礼讃を一くさり申上げれば、車中は若いピチピチした男女の息吹が身近に感ぜられる。あんな人はいつたが、若い人達に交つて通動することは老人にとつて若返り法の一つだとのこと。もしそうだとすれば地下鉄は正に不老長寿の霊場ともいふべき所、世の老人諸君大いに地下鉄を利用しましょう。但し市交通局から露さらさら頼まれた訳ではない。(日邦工業株)

僕の書齋

小林象三(元教授)
(大阪工業大学教授)



先日、広島大学から立命館大学へ
転任された中野清一教授夫妻が、お
訪ね下さった時、たまたま墓目英三
さんと御息も御一緒され、非常に
たのしい時をもった。中野さんは学
生時代私どもと榎太へ講演旅行をさ
れた。その上緑丘で同僚でもあつ
た。同君が京都に転任されたことは
まことにうれしいことである。墓目
君は「緑丘」の編集者として深く敬
意を表している友人である。私の書
齋で語り合った緑丘学園出身の二人
の珍客は私に書齋について漫談を書
くようにおすすりになった。一週間
が十日程ないと困るような多忙な生
活をしている私は、いづれ
夏期休暇にはいって、一文
を書かうと考えていたとこ
ろ、「緑丘」43号18頁に、
私の記事が次号に出るとの
予告があり、驚きかつあわ
てた次第である。

さて、僕の書齋といつて
も、とくに変わった点はない
が、ただ書物と蓄音器のレ
コードが無数にあるという
だけのことである。訪問者
の皆さんが書物の多いのに驚かれ
る。他人から、いわれて自らも、よ
くこんなにくさん買ひこんだもの
だ——金もないくせに——といま
さながら驚く次第である。この無数
の書物は主として丸善から約五十余
年の間に買ったものであるが、敬意
を表して「丸善さん」と呼ぶことと
する。というのは、私のほしい書物
はほとんど届けてくれたからであ
る。

私は京大の学生時代——一九一六
年の秋から一九二〇年の春まで——故
クラーク教授から特別の指導をうけ
、とくに大学院の数ヶ月間、同教授
宅に居住する光栄をもった。小樽商
大から京大へ転任した一九五〇年以
来、私は同家の親戚代表として、神
戸の外人墓地へ毎年墓参している。
(昨年出版された「日本ラグヒ史」
参照)。

さて同教授の蔵書の多かつたこと
は衆知のことであつたが、先生は私
に、「丸善へは毎月百円づつ払うこ
とにしている——請求額の多少にか
かわらず」と。いわれた。当時の百
円は今日の金に換算して何万円であ
ろうか、私は先生のまねをしたわけ
ではないが、ほしい本は早速注文す
ることとしていた。一冊々々その場
で払うというのではないので、まこ
とに買ひ安いので、よく買ふことと
なる。「金が出来たら、買ひましよ
う」ということでは、買ひ得る時は
来ないであろう。昔、年末に英国へ
注文する新聞や雑誌の予約金のこと
で、よく家庭争議がもちあがつたも
のでした。

さて、書齋は研究者には必要不可
欠のものであるが、あまり本の数が
多いと、時々ヒヤヒヤすることがお
こる。京都へ転居した一九五〇年
この家、とくに書齋の床をよく手入
れして書物をならべたが、すでに数
回床がぬけたり、床の間がおちたり
して、その度ごとに少しの物音にも
ビクビクした。三回目の大修理を昨
年暮にして約十万円かかったが、ま
づまづ当分安心という状態である。
さて、どんな書物があるのか、も
ちろん大部分は英語のものである。

英文学、英語発音学、各種の英語聖
書、辞書、百科全書の類である。京
大の学生時代に丸善から求めた十一
巻もののセンチウリ辞典に毎月七円
づつ払った経験はまことになつかし
い。特に珍書というものはないが、
ランダン(ロンドンではなく)に関
する書物、英米の演劇、映画の雑誌
や週刊紙、語学のレコード等々々
ころせまじとならんでいる。かくし
て本とレコードの山に、この家の大
部分が占領されて、家族三名は小さ
くなって暮らしている。

さてこんなに無数の書物がありな
がら、私自身の書いた書物は、どれ
ですかと問われると、いさゝか返答
に窮する。一九五六年京大を定年退
職する直前、一書を公にすることが
出来たことは一生の最大のよろこび
の一つである。ただし、この書は英
語散文律という問題を英文で書いた
もので、商品にはなりかねるもので
ある。幸い、緑丘学園出身の某君が
ただ一人で費用の全部を出して下さ
ったことは感謝の言葉もない事であ
った。

次にこちらへ来てから、各種の雑
誌のために書いた十数篇の論文——
主として英語発音学に関するもので
全部英文——は幸、ひきうけて下さ
る出版会社があり、目下写真による
印刷の準備中であることを附記して
おく。

なお、珍書ではないが、小樽在勤
中、故クラーク先生からいただいた
数百通の長い長い手紙、もう一人の
恩師ダニアルチヨウズ先生直筆の
履歴書や数々の手紙は私の書齋の珍
宝である。(六、一三、一九六五)

異 動

栄 転

- 渡辺秀作(昭一一)
同和火災海上保険株式会社新潟支
店長(同社仙台支店)
新潟市上大川前通八番町一二四九
の二
- 藤田精二(昭一五)
住友海上火災保険株式会社札幌支
店(徳山営業所)
札幌市北三条西二丁目一
- 伊原利勝(昭一四)
第一銀行数寄屋橋支店長(同行総
務部次長)
細川信四郎(昭一四)
三菱銀行下関支店(大阪支店)
下関市細江町
- 中本毅彦(昭三二)
④今井東京仕入店(札幌支店)
東京都中央区日本橋町四ノ四
星見治(昭一六後)
千代田火災海上保険横浜支店(神
戸支店)
- 横浜市中区弁天通四ノ五二
飯島幸雄(昭一一)
国鉄北海道支社検簿長(旭川鉄道
管理局会計課)
近藤一郎(昭一五)
樽崎産業(株)港運事業部東京営業所
(同大阪営業所)
東京都港区芝新橋二ノ一〇今朝ビ
ル
- 泉山政寿(昭一四)
神戸電機(株)取締役経理部長(日立
化成工業(株))
高見美雄(昭八)

- 北海鋼機株式会社取締役経理部長
(北海道拓殖銀行)
江別市江別四四一番地
- 浜浦英祐(昭四)
神奈川電気株式会社(三菱電機東
京商品営業所)
東京都港区芝新橋五丁目二番地
- 室谷邦雄(昭一三)
関東銀行本店取締役業務部長(日
本銀行)
茨城県土浦市川口町九〇〇番地
- 宮嶋巖(昭一一)
電力用炭販売株式会社業務部(北
海道炭礦汽船名古屋営業所)
東京都港区芝田村町一丁目七(田
村町会館)
- 山田晃敏(昭一七)
株式会社五洋紙工所取締役東京営
業部部长
村岡英一(昭八)
扶桑興業株式会社取締役岡山駐在
(扶桑相互銀行取締役)
西野嘉一郎(昭一五)
株式会社芝浦製作所取締役社長(副
社長)
- 池川寿郎(昭三一短)
中央広告通信(株)(大阪支社)
東京都港区芝田村町二ノ一〇
- 横山秀男(昭八)
北海道炭礦汽船(株)札幌事務所長兼
北海道営業所長
札幌市北二条西三丁目
- 駒井幸一(昭四)
函館下ツク株式会社函館造船所長
大友敏弘(昭一九)
安田信託銀行錦糸町支店(岡山支
店)
- 東京都墨田区江東橋三丁目七番地
畑信太郎(昭一四)

住 所 変 更

- 九州朝日運送株式会社創立
事務所 福岡市天神町一丁目
朝日麦酒(株)九州支店内
高田甫(昭一五)
中央電機株式会社(三洋電機株式
会社本社)
埼玉県松山市字東平一五一一
長谷川大(昭三四)
川崎重工業(株)機械事業部第一営業
部火力課
高橋弘八(昭一六後)
日商(株)鋼管部長代理(同社東京支
店)
- 田島正太郎(昭一一)
東京都板橋区小茂根四丁目二八番
一〇号
- 渡辺秀作(昭一一)
新潟市水道町二の五九三二
松本信男(昭一六後)
東京都港区青山南町四丁目二十一
番地
- 藤田精二(昭一五)
札幌市南五条西三十三丁目一三二六
住友海上北星寮
桜庭亥一郎(昭一一)
北海道函館市五稜郭町五二
中本毅彦(昭三二)
東京都豊島区高田本町二丁目一
④今井社宅
- 星見治(昭一六後)
横浜市中区大岡町谷戸前一五四四
村岡英一(昭八)
岡山市山崎一〇八ノ五
大崎康市(昭一九)
吹田市藤白台三丁目五番地
近藤一郎(昭一五)

退 任

- 河村誠三(昭一一)
ビーエスコックリート(株)取締役

事 務 所 変 更

- 和田益太郎(昭一三)
岡山市磨屋町九番十八号
岡山県農業会館内
兼松株式会社岡山出張所

まんびつ五人集

次回

広瀬 久一 (昭二)
 萩村 雄一 (昭一九)
 松村 公 (大一一五)
 佐藤 治 (昭一二)
 藤井 尚一 (昭一八)

無我の道

太田 英治

(東京支部)

最近読んだ六月号青淵
 と言う小冊子から抜書し
 た次の二つの記事は面白
 いと思つたので茲に載せていただき
 度いと存じます。

毅然として自己を守る

之は大正九年、三菱商事が初めて
 出来たとき岩崎小弥太社長が第一回
 の支店長会議の席上で訓示された内
 容の一部である。「或は学問、或は
 同郷関係、成は上役との縁縁関係な
 ど俗にいう女の腐ったようなことを
 平生ぐずぐず言い合うようでは到底
 意思の疏通をはかることはできな
 い。われわれは常に毅然として自ら
 を守るところがなければならぬ。
 いわゆる剣武も屈する能わざる態の
 操守あれば同学同郷相集まつてもよ
 し、また集まらないでもよし、また
 上役の門に出入するもよし、出入せ
 んでもよしい、そのようなことは
 問題ではない。絶対に念頭に置く必
 要はないのである。

本人さえよければ幾らでも其の本
 人は使えるのである。本人が使えな

い人間であれば、もう上役に幾ら出
 入りしても、そんな人間は出入りし
 ないと同じことなんだ。学校が同じ
 でも郷里が同じでも、そういう人間
 が集まって同窓会を作るなら作って
 もいい、一向構はない。しかし、そ
 れは作っても作らなくてもいいん
 だ。会社というものはすべて本人次
 第で、本人のいいもので守ってい
 なければいかぬ」

人生には信頼する先輩と友人が必要

困ったときにどうしても相談しな
 ければならぬことが、これからある
 のです。長い間には必ず自分が迷う
 ときがある。困るときがある。其場
 合に相談することのできる先輩と友
 人というものは是非持つていなけれ
 ばならぬ。私の体験では是非先輩の
 最も尊敬する人を一人二人持つ。尊
 敬は必ず向こうの鏡が自分の顔を映
 すように自分が其の人を真に尊敬し
 ておるといふ場合には必ず向こうの
 人がこちらを愛してくる。従つて
 常に面倒を見てくれる。ゆえに先輩
 を必ずあなた方が尊敬する一人か二
 人持つて、そうして常に其の人に接
 する。これが大事なことです。以上
 は「無我の道」の題目で、三菱製鋼
 相談役李家孝氏が三月五日於暖依村

現代セールス

マン気質

高山 博男

(東京支部)



無責任時代のよい調子
 が過当競争を迎えるに至
 った。

「よりガメツク」とか「よりウアイ
 タリテイを」というかけ声が茶の間
 のテレビから画面と共に飛び出して
 くる。ドラマは戦国時代ものが流行
 し、C・Mの激しさは、まさに世界
 一との定評を得ている。
 各社は遅れてはならざればかり、
 セールスマンの強化こそ急務とい
 う次第である。
 「契約セールスマン」なる人種が花
 やかに登場すると「セールスゴロ」
 なる新手が副産物として生れる。劣
 使何れが使いこなすか。
 元来セールスマンというものは、

桐生の二つ

上州の二つ

祐村 脩平

(東京支部)

う猛者がいて、最初の冬から寮のお
 きてとか何とかで否応なしにグラ
 ドのあつた山の上に引張り出され滑
 行を命ぜられた。なかには品川君の
 ように地育ちの巧者もいたが、初
 めてスキーを穿く私などは文字通り
 七顛八倒、あの長い地獄坂を尻で滑
 り下りたことを覚えてはいる。東京で
 の空白が祟つてか其後は回数割合
 に上達せず子供達にどんどん追い越
 され、一昨年負けん気を出して足を
 骨折し、年寄りの冷水なぞと神田君
 に笑われてはいるが、白凱々の魅力は
 忘れられず、最近のブーム憤慨しつ
 つも、いまだに毎冬滑っている。こ
 れだけは小樽、桐生を通じての遺産
 としておそらく死ぬまで続くことに
 なるだろう。
 次は大阪の松村義公さんにお願
 します。
 (大一一五)

銀婚式

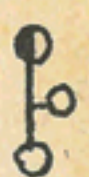
立石 市郎

(熊本支部)



岡本元次君から、まん
 びつのバトンが廻つて来
 たので、さてペンを取ら

うとしたら、一昨年の秋、曾根君と
 阿蘇に登つた時の事を思い出した。
 どうして一昨年も前の事を直感的
 に思い出したのか、自分でも判らな
 いが事実思い出したのだから、致し
 方ない。しかも思い出したのは其の
 内の極く一部分である。
 東京本社から八幡に出張で来た曾



五月の二十三日に熱海
 の富士屋ホテルで大正十
 五年卒の四十周年記念会
 があった。長崎の柴田君、四国の川
 上君なども見えて総勢三十名に近
 く、中々の盛会だった。卒業後始
 めて会う人達も居つたが、浴衣がけ
 て応援歌を合唱すると、その間の四十
 年はどこかへふっ飛んで夫々緑丘時
 代の紅顔がアップされ、お蔭で大い
 に若返つて帰京した。それでも幹事
 の報告では一四五名の卒業生が現在
 九九名とのこと、約三分の一が物故
 されたことになる。

私はこの四十年の内大半の二十五
 年を上州の一隅桐生市で過した。桐
 生と言へば、甲子園の名門、桐生高
 校、さては桐生お召、夏帯で御存じ
 と思うが、足利、伊勢崎、前橋など
 と北関東の一線上に並んだ繊維産業
 都市で、前には渡良瀬川、後には赤
 城山を背負つた中々に風光明媚な土
 地である。よく上州の「かかあ天
 下」について由来を聞かれるが、こ
 の附近一帯は中小の織物工場が多く
 主人は専ら販売面で外部との折衝に
 当る反面、従業員はほとんどが女子
 なので、主婦は工員の食事から作業
 の管理まで一切を受持ち、主婦とい
 うよりも、むしろ立派な工場長であ
 る。また女子の職場が多いので一般
 でも夫婦共稼ぎが昔から当然とされ
 ていた。街でも男がねね姿で子
 供をおんぶしているのをよく見かけ
 る。季節毎に織物の仕入にやつて来
 る都会人には、これ等がいわゆる「
 かかあ天下」として映つたのである

うか。最近は何処でも女性が強くな
 って、この名物の影も薄れたが、浮
 沈の激しい繊維企業はなから、お
 のずと生れた上州女の男勝りはそれ
 こそ天下に自慢してよいものと思
 う。

この外上州の名物は雷と空っ風、
 義理人情といはれてはいるが、夏の猛
 雷と冬の赤城風には掛値なしに閉口
 した。義理人情は特に厚いと思は
 なかったが、大前田英五郎や国定忠
 治に代表される一六勝負と、その度
 胸は確かに上州人に共通の性格で、
 事実織屋は一夜成金の一夜乞食とい
 はれ、翌年の流行を見込んで一年も
 前から織出す反物の柄模様が一朝夕
 外れたら、その工場も問屋もそれで万
 事おしまいとなる。人口僅か十二万
 の桐生市に、いまでも糸の取引では
 東海の近藤紡と一、二を争う相場師
 もいる。上州は歴史も古く、桐生の
 隣駅岩宿から五万年前といはれる日
 本最古の土器が発掘され、また古来
 「上毛野」といはれて万葉時代から
 の遺蹟も多い。人物では文豪田山花
 袋、宗教家新島襄、内村鑑三、和算
 の関孝和の外、はりつけ茂左エ門、
 塩原多助等は既に御承知のことと思
 う。

桐生は上越に近いので仕事の合間
 に日帰りでスキーに行くのが何より
 も楽しみであった。私のスキーは、
 もちろん玉乃井寮の三年間に増田、
 吉田、大倉の諸兄と学年試験も、そ
 このけで覚えたものであるが、当時
 同寮一年先輩に今は全日本スキー連
 盟の役員に納っている錦戸さんとい

どうか皆様方の貴重な体験談をこの緑丘に御発表下さいまして数多い後輩の参考に供して頂き度いと思ひます。

「桐の花妻に一度も衣を買はず」どなたか名前を忘れましたが、有名な句がありますが、昨今のように生存競争の激しい人生に、金婚式迄夫婦揃って生活を続けることは、とても望みませんので、やはりこの結婚二十五年目というものは御互の人生に大事なものであるように思はれますが、如何なるものでありましようか。

其後曾根君は熊本へ来ないので後日談はありませんが、昨年の春高知から宮内君が遊びに来てくれました。た。かつての旧姓長島義雄氏は、昔と一寸も交らず、快活に談論風発、誠に愉快な一日を過ごしました。この時も阿蘇登山をすゝめましたが、時間の都合でそれも出来ませんでした。が、その代り御酒の方はとも急ピツツで、御互の家庭生活に至るまでに行かなかつたような次第で、その日は銀婚式の事は遂に話題に登らず、そのままになって了い、このまんびつの御蔭で、また思い出して下さるような訳です。

どなたでも暮目さんから原稿の催促を受けられなくても、直ぐに執筆出来るようなネタは仲々持つておられないと思ひます。その時私が先程申し上げましたような貴重な体験談を御発表下さいませれば、罪多い後輩共はさぞかしよろこぶ事だらうと思ひます。何卒よろしく御願ひ致します。

ます。次は私と第四寮で同じ部屋で苦楽を共に致しました佐藤清治君に御願ひ致します。

なお申し遅れましたが本文中河内典次君として登場します町長氏は旧姓を小谷典次という秀才で、目下天草架橋後の天草島の発展のため東奔西走中の政治家であります。

(本文に出場します諸氏はいづれも昭和十二年卒で第二寮二名、第四寮二名となっております)

(昭一二 九州産業交通)

物は考えよう

市橋 宏一郎

(大阪支部)



緑丘をあとにいつの間、二十六年になりました。緑丘生活は私の性格通り別に取り立てて御話する事の無い平凡な生活を送りました。一方郷里の家業は当時漁業、金融、農業から水商売(当時アルバイトで祝津の日和山温泉経営)まで、常に何にかごたごたしてあり、家業に好感を持てぬばかりか中小企業の浮沈を目の前に見せつけられ、私だけは平和なサラリーマン生活を送り度く当時としてはほとんど転動もない一番安泰な安田信託会社を志願しました。だがその時代は好景気の時で、華かな他の産業の発展振りを見ている母の反対にあい、結局今の日産自動車に入つたのが、その後職を三転四転するキツカケともなりました。

丁度日産自動車の北京勤務の時、

軍部の販売統制に会い、昔より紡績事業等で支那に資本のあるトヨタに對して日産は満洲へ、そしてわれわれ従業員は然る可く現地の会社に入るよう指示されました。その時丁度母が北京に見物に来ていましたので、その時の總裁加屋興宜さんに母が頼み込み北支那開發隊に入れて頂きました。随分調子が良い日本一の大きな会社、今度は大丈夫と大船に乗った気持でいたのも束の間、すぐ現地召集を受けました。母は驚き、また札幌よりやってきました。もちろん私としては有難迷惑な事でした。だが緑丘時代一番仲の良かった同期の太田正勝君と母の二人が天津の駅まで見送ってくれたことは面白い因果と思ひました。

私の軍隊生活の万年一等兵は、まだ当然としても、新しい兵隊が入らず、満年初年兵で満洲のノモンハン国境よりの桃南という都市で終戦を迎えました。その時の中隊長は一年志願の四十過ぎの年配、何かさこち無い処があつて何時も大隊長に叱かれていました。

終戦近く、ソ聯がノモンハン国境より侵入して来るのでガソリン瓶を持って迎へ撃つ可き命令を私達の中隊に出されました。また演習かと思ひ空ビンを持って出発しますと『本当だ何にしている』と、また中隊長は私達兵隊の前で随分叱られていました。本物と聞き、私はひやつとしました。やがて国境近くの或る拠点に着きますと中隊長は、この中隊は決死隊となり、この地点を死守す

る。数時間でも戦い、旅団本部の防禦準備に時を与える任務のある事を述べ、また身体の悪い者、家庭の事情で戦斗に参加出来ない者は前に出るようお願いしました。私は横目であたりを見ましたが、誰れも前に出ませんでした。一望千里雑草のノモンハンの咲き乱れている草原、高台に双眼鏡を持って歩哨に立っていますと、情報をつかむに早い部落民ははや家財道具を荷車に積み、避難する長い行列が方々にうつり、これで平和な満洲が蜂の巣をついたようになつた訳だと思ひました。

夜中にソ聯の二個師団と戦車四百台が今、国境線突破したとの情報を持って国境の一個分隊の歩哨が兵隊を半分置き捨てにしてトラックで引揚げて来ました。暗闇の事で初めソ聯戦車来襲と感違いして大ききわざをしました。まるで平家の水鳥そのまゝです。そこでわれわれは自分で掘った墓穴ならぬ蛸壺にガソリン瓶をいだいて入り戦斗態形につきました。だが幸い交戦寸前に本部より退却せよとの命令が着きましたので戦車の通れない、ぬかるみを通つて本部にたどり着いて見ますと、兵舎橋梁を破壊して全部退却しており、桃南市街は剣銃の撃ち合いの無政府状態で一個中隊では入ることが出来ませんでした。結局本部の後を追ひ、新京めざして強行軍をしました。

御話はその時の事です、一番点数が無く作戦の捨石に迄された、その中隊長が、その生死の苦境に直面した時の毎朝々々の訓示や態度が誠に立派で私達は非常に感銘し、信頼し、少しも乱れなかつたに反し、本部の方は大勢で先に逃げていながら重いものは大砲の弾迄放棄し、落伍者は置捨てにされ、文字通り算を乱しての退却ぶり、その時つくづく一人の責任者の行動が、これ程全体におよぼすものかと、いまさらながら想ひました。

その後三年半の抑留生活の後、郷里の札幌に帰り、古谷商店に入りました。立派な御店でしたが、どうした事か、幾多先輩、後輩が飛び出してしまひ、私にも定住の処でなかつたのか十年間の御奉公の後、緑丘時代より憧れていた阪神地区に居を求め、いまの会社にはまり込みました。結局いまは緑丘時代避けようと思つていた中小企業の経営者の一員になり、もう好き嫌い等、贅沢はいつておられず奮闘しなければならぬ運命とは、これも皮肉な因果と思ひます。

このまんびつを書きつゝ、家内に安田信託のことを話しましたら、家内は信託に入つていた方が良かったのか、いまの方が良いのか物は考へようで死んで見なければ解らないといひます。何にかと干渉して来た母も、いまは老衰で床に伏せたきりです。私ももう五十才に近かつかうとしています。誰れが反対したから、どうこういうのは可笑しな話です。せめてこれからは、自分で努力し平和な人生を創つて行きたいと思ひています。

次は神戸の亀井尚一さんにお願ひします。(萬商株式会社取締役)

自由



(自由)

人工中絶は日本を亡ぼす

南山大学教授 井上 紫雷

(元母校教授)

人工妊娠中絶はしばしば母体の命を救うためだと釈明されている。しかし日本は中絶が禁止されている諸

新刊紹介

中央公論



(中央公論)

一万年目の気象異変

学長 加茂儀一

日本における近年の気象の大きい変化について、昭和三十八年一月に

国のそれに較べて、妊産婦死亡率が三倍強の高率であることをアメリカ、イギリス、フランス、オランダと比較している。

中絶による母体の精神の上にも大きな傷痕を残していることも国際比較表(二〇―二四才婦人の自殺)が示している。

優生保護法制定以来、わが国の人口動態がいかに急角度の下降線を辿っているか。人口動態一覽表(昭和二十二年から三十八年)を掲げて純再生産率を一割って居るので、このまゝでゆけば日本民族は四・五百年にして地上から姿を消し去ることになるかと憂いている。

日本人の子の生み方が甚しく少な

学長が根室で気圧の観測が異常な低圧を示した事に注目した。一月の気圧は九九八・九ミリバールで平均値より一二・七ミリバールも低い。気圧の変動の標準偏差が二・五ミリバールでそれは五倍以上となる。その値が二倍以上かたよることは二十年に一回程度、三倍以上は三百年に一回程度、四倍以上は一万年に一回程度の出現である。根室では実に五倍以上を示している。これは異常なところか稀有な現象といつてよいといふ。北半球に広がる異常気象について近年の北海道はじめ日本の諸現象と諸説を挙げ、この気象異常にもつと世間は強い関心をもつことを要

いにもかゝらず、なお毎年九〇万ないし百万近くの人口自然増加がみられるため、もつと少なく生んでよいのではないかとこの錯覚については映画館の観客を例にとつて説明する。

そして結論として日本民族が榮えて、その特質をもつて世界人類に貢献すべきであるならば、早急以上講じなければ悔を千載に残すことになる。日本民族の防衛のため血醒い戦争に臨むくらしいの決意もつて「子のための戦い」に戦利をおさめるのは人間尊重、社会開発を看板に掲げる佐藤内閣に課せられた重大な使命であると結ぶ。

望している。

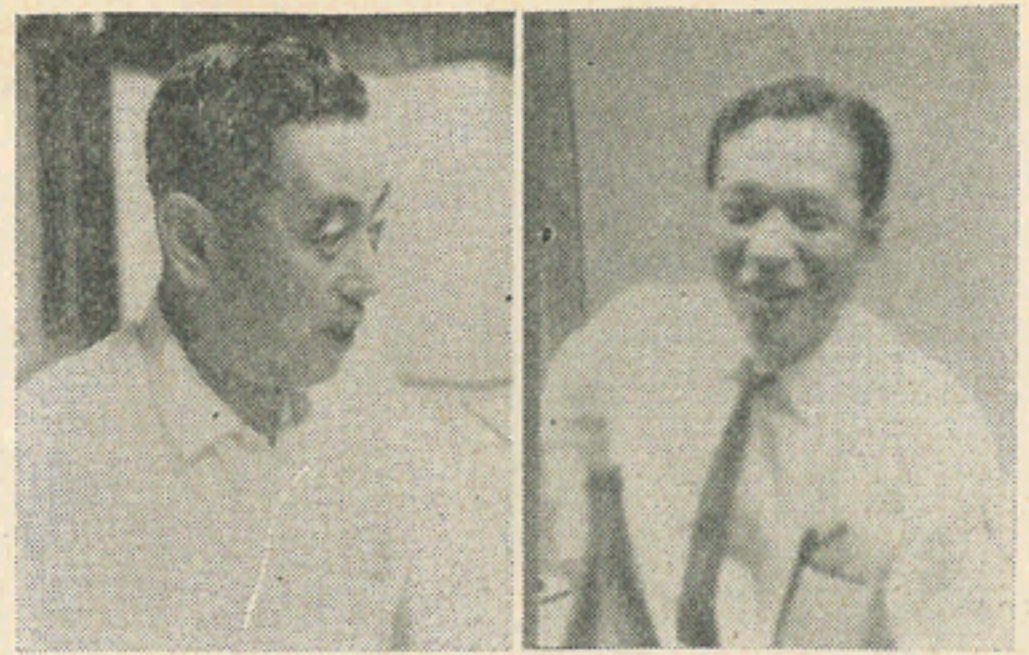
高度の経済成長も気象を考慮に入れないでは不可能であり、科学に弱い政治家も我田引水の学者も、この異常の解明と具体政策のためにもつと真剣な態度をとらなくてはならぬと忠告する。

日本の気象がアリニューシヤンの低圧部の西へのはり出し勢力の影響を多く受けている以上、南極観測も大切であろうが、むしろベーリング海峡やオホーツク海の気象観測の方がより重要であるように思はれる。一万年に一回起るといふ気象異変、科学者としての先生の論文は一読に値する。

緑丘
余話

マツキンノン先生を日本へ呼ぼう 資金の一部にと申でた

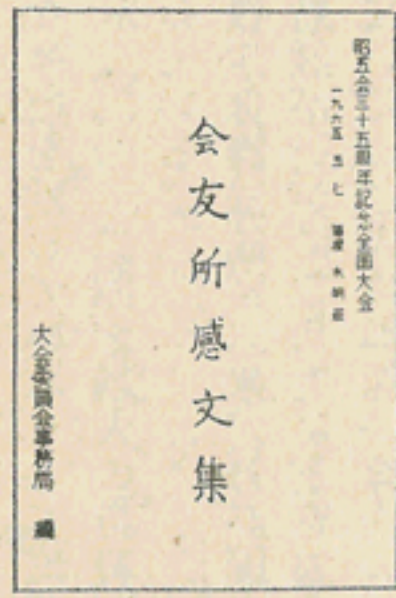
神戸支部の本間広松、水島弘両氏



水島弘氏 本間広松氏

郷を是非見物したいと彼を訪門した人々に訴えている。この願いを實現して上げたいと発表されたが、神戸支部総会のおと暮目副支部長(大阪)がその話を昭八会(昭五会)のメンバーに発表した所、本間、水島両氏は是非この件は實現してほしい。僅少ではあるが、その基金の一部に当て、いただきたいと申出があった。

昭五会三十五年を記念して
所感文集を發刊



三十五周年大会を迎えた昭五会はこの年は珊瑚婚祭だという。そして「参加する事に意義がある」を目ざして箱根に集った。

にも増して「良き友を持つ喜び」、金錢に代え難い人生最高の喜びを充分満喫した昭五会は感想近況の文集「会友所感文集」四十三頁を發刊した。

卒業後の経歴と近況に、家族の消息をつたえ、たのしい文集で同期の連中は、むさぼるように読了した事であろう。それにつけても、まともな役の幹事諸兄の苦勞はなみ大いの仕事ではない。

追分努氏(昭12)
大型ダンプカーに激突即死



五月二十八日午後五時五十分頃、広島村輪厚の弾丸道路で札幌に向つていた追分努氏(新宮商行東京支店長)の乗っていた同会社のライトバ

ンに大型ダンプカーが正面衝突、さらに後ろからきたダンプカーが追突、はすみでライトバンは約十五分はねとばされてメチャメチャになりぶつかったダンプも前後をそれぞれ中破した。

マツキンノン先生を 日本へ招待の基金募集

- 緑丘人有志でマツキンノン先生を本年9月日本へ招待しようという美しい運動が開始されました。振って御参加願います。
1. 目標金額 120万円
 2. 募金一口 2,000円
 3. 募金受付 東京都中央区銀座東七丁目六 双葉ビル 緑丘会東京支部事務局 神田正英宛又は本部
 4. 切 昭和40年8月31日
 5. 応募者 緑丘人及び本人の知人

マツキンノン氏を憶う

苦米地 英 俊
(元校長)

人間がその終着駅をのぞみ見る頃になり、過去を顧み思いを若かりし日に馳せるとき、人生設計の空虚に驚く者がどんなに多いことだろう。

マツキンノン君はハーヴァード大学でバチエラーの学位を、さらに加洲大学でマスターの学位を得た人で米国内で立派な職場に歓迎される立場にあつたのに、志を抱いて日本に渡来し、日本を知り、日本を熱愛するようになり、緑丘学園を終世の職場にするための人生設計を立て、由緒ある家庭に育つた教養ある日本婦人と結婚し、三児をも

胸に秘めた唯一つの希望

いま一度緑丘を訪ねたいという

うけた。長女ベティーさんは東京女高師を卒業、札幌の北星高等女学校で国語教師に就職し、次女リンコナさんは津田英学塾に、長男リチャード君は金沢の第四高等学校に在学していた。一家揃って日本びいきで楽しく幸福に暮らしていた。こうしてマツキンノン氏は四半世紀を緑丘生活に過し、恪勤精励、誠心誠意学園のためにつくした。その功績が認められ、外人教師には珍らしい勅任官待遇を受け、勲五等瑞宝章が授けられた。

マツキンノン君は人生設計の一環として本国で養老保険の契約を結び、日本でも蓄財につとめた。こうした深慮遠謀も太平洋戦争のため水泡に帰し、罪なくして捕われの身となりあらぬ暴行を受けて前歯を折られ、家財は差し押えられ、第二次交換船で本国に強制送還させらるるに至った。

四〇年度総会は東京都で行われたが、その総会席上四十一年度は大阪で開催に決定。大阪支部長、幹事長は帰阪して直ちに案を練り、神戸支部、京都支部にも協力を懇請した。

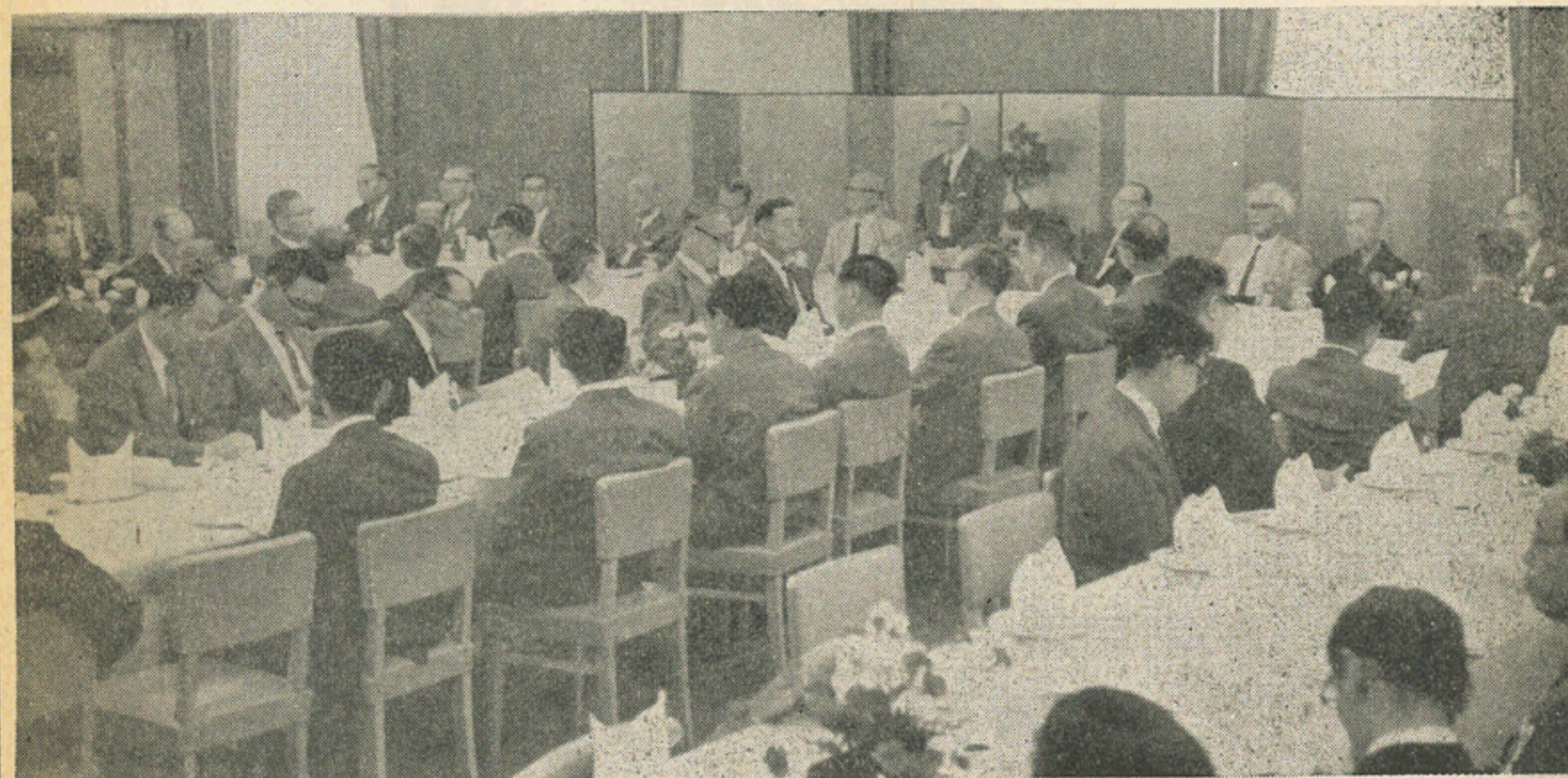
四十一年度緑丘会総会は大阪で 大阪支部長以下計画を推進

二時間ガーデンパーティー(懇親旅行) ①日時六月十一日、十二日(土、日)
②コース (1)京都、びわ湖コース (2)白浜コース
③ゴルフ大会
各年次の記念集会を、この合同総会に合わせて関西で開催されるよう大阪支部は要望している。

新入会員28名を迎えて開催

6月8日

緑丘会第25回通常総会 緑丘会東京支部総会



緑丘会第二十五回通常総会と緑丘会東京支部総会が東京ステーションホテル二階宴会場で約九十五名の会員が集まり開催された。

武岡嘉一東京副支部長の開会の辞により先づ東京支部総会がはじまった。上村甚四郎支部長不在のため副支部長小貫武氏から新入会員二十八名に先輩としての経験から誠実、責任、心豊かにと新入会員をいたわるような情熱あふれる歓迎の辞をかねて挨拶され、続いて決算報告があり役員改選、欠員補充を発表した。これで東京支部総会が終了、第二十五回通常総会に入った。

中島事務局長が総会開会を宣し、佐々木理事長立って今後の緑丘会の進む道をしめした。「緑丘会の支部は三十五支部。会員八、三二一名となった。緑丘後援会設立の目的も達したので、今後は緑丘会の学校に対する支援はもちろん、緑丘会本来の目的たる親睦をはかる事にとめた。そしてその目的をすゝめる為に財政基盤を堅固にする必要がある。緑丘会には後援会として会員諸兄の協力を特にお願ひ申上げたい。

小樽支部にも東京支部にも二〇名か、三〇名の会合する場所がありませんので利用いただきたい。事務局をも大いに活用願いたいと思ひます。」続いて昭和三十九年度事業報告、並に収支決算及び財産目録、四十年年度収支予算等も一氣に可決。会食に入ります。

次回通常総会開催地の件、一先づ理事長一任となったが、大阪支部引受けの申出であり、理事長から次回来年度は大阪支部にお願いしなすとの決定を発表し、満場拍手にわく。

この次期開催の地については総会前に理事会を開き、事前に開催地を決定、総会の席上で直ちに発表出来るよう事務局長の運営上の配慮があつてほしかった。

青田滝蔵氏(大五)から緑丘会を代表し新入会員歓迎の辞を述べれば驚北君新入会員を代表し歯切れのよい挨拶をする。

新入会員は二十八名、次々立って自己紹介に入る。十人十色で明瞭な挨拶や蚊の泣くような挨拶などさまざまである。これも止むを得まい。

学長は学校事情について電子計算機、管理科学学科の設置に伴う教員の増員と募集学生の増員、図書館横に一億三千万円の予算で教官研究室を建て、二年がかりで本館の新築を開始したい。体育館の工事もすすめて、五月に完成予定である。と説明

学校の正面玄関の建物は華々重要文化財にも匹敵する建物であり、これを小樽市に寄贈して永久に保存したい。この建物の一番美しい姿をあらゆる角度から見て冬の一瞬間をねらって撮影したカラー写真を持参、希望者に頒布し度いと会員に撮影の苦勞を説明した。

最後に小林多喜二碑が十月小樽の展望台に建設されるので緑丘会として、ではなく有志の方々の何分の建設費に対する御支援を願ひ度いと挨拶を結ぶ。

苦米地英俊先生は若い元気に満ちた新入会員を激励の後、マツキンノン教師が母校に奉職中昭和十七年憲兵隊にスパイの嫌疑をかけられて日本を去つたが、最近の消息によれば

どうしても小樽や札幌など日本の姿をもう一度見たいとの事、出来れば一人一、〇〇〇円を負担して一千人の方が御協力願えたら御案内出来るので何分の御援助を願ひたい。と。

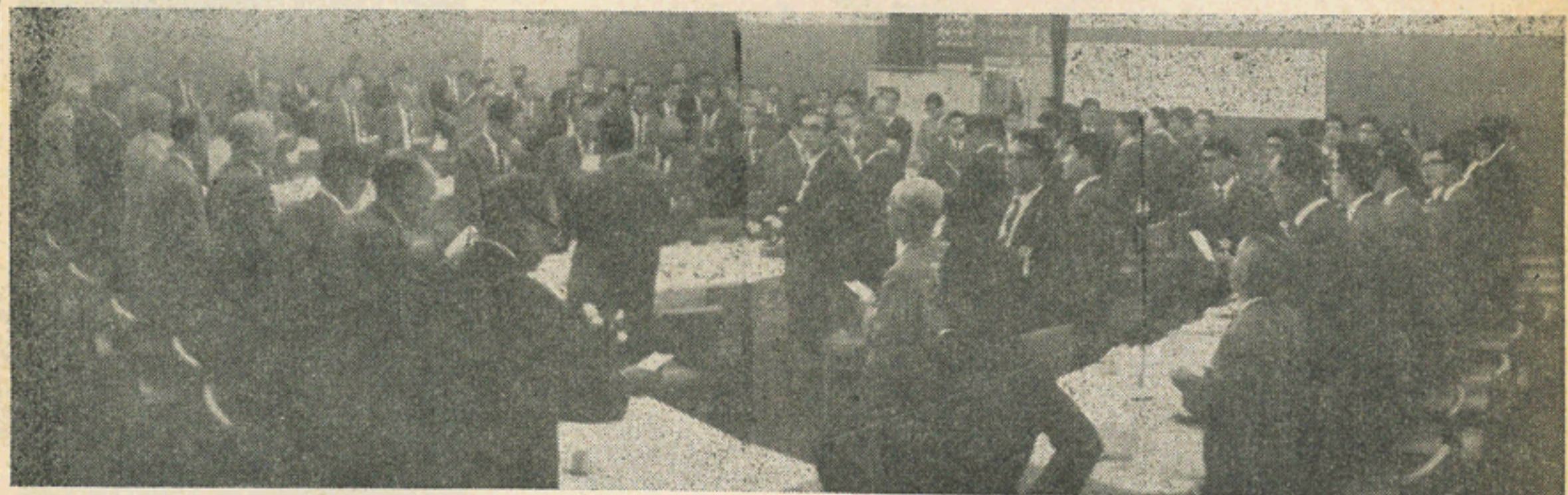
蒔田栄一氏(元講師)立って小林多喜二碑に対する援助について緑丘人の協力を要請する。

大阪支部長石田平八氏(昭二)が指名されて大阪支部の近況と合せて「緑丘」誌を刊行している事を紹介一年間六回発行、七〇〇円であるから多数お申込み下さい。もう一つ紹介し度い事は関西エルム会(北大)と緑丘会との交歓会が行われ、お互に適令期の子女を持って行われる事と縁組みの話まで出ていると堂々たる挨拶であった。「その挨拶のエレメント誠にあつたばなものと東京副支部長小貫武氏も賞讃する。

最後に札幌支部を代表して出席した小西征夫氏(昭二)が札幌支部の近況を語り、札幌に緑丘会館を建設しようという意気込みを語る。これが実現を満堂の会員が期待する事しきり。

母校々歌の合唱と緑丘会万才での第二十五回緑丘会総会も幕を閉じた。

(写真説明)
 (右頁) 緑丘会本来の目的たる親睦をはかることにとつとめると挨拶する佐々木理事長
 (下) 総会も終りに近付き母校校歌合唱



支部長挨拶のピンチヒッター

東京支部副支部長 小貫 武

当日になつて上村支部長は緊急要務で、福島県平市の原町新橋へ出張されてしまつた。

出発の通き立ち「おまへ代つて挨拶しろ」との御託宣で、頭の重いこと。筋の通き立ち「ユモアたっぷりな、そしてまことに聴く耳をそば立たせる上村さんの上手な御挨拶に日頃接して、感心しつづけておる私としては、閉口頓首もいゝところですよ。拒りもならず、一応喋らせてもらいました。

挨拶と答案は要にして簡、そして短い程良い筈です。終戦直後、故野博士の「週刊朝日」の連載懐古談に、いまだに私達の崇拜の的である。故伴房次郎先生の東大独法在学中の当時の名答案振りを披露し絶讃しておられたことを思い出したり、先輩、同僚、後輩の間で尊敬するに足る面々の常住坐臥を想起したりして、やうと何んらかのポイントを私なりに、欄だ気持になり、何んとかなるだろの、一寸した安らぎを覚え、結ばばい、と吐ききめて、五、六分喋りましたかな。

クラスメートの損保のT支長と、よく話し合うのですが、四十年を経て、改めて緑丘学園を懐古追憶することができ、いゝ学窓をこの時代の出たがゆえに、人間本然の姿で、偽るところもなく、この五十年の伝統に培かれた賜物以外の何ものでもない語り合つておるのです。

崇拜する同窓生は、総て誠実を基底として、責任感強く、そして心豊かな人々です。この三つの要素は職場においても、友人間においても、また家庭生活に適用されて、悔なきものと信じます。といたいのが、実は私の挨拶のミソで、社会に出ると凡ゆる不正不義に直面し、追従阿諛に耳を覆いたくなくなるとも、心身の糧とすれば、諸君は百万人と雖も、われ征かんの心境に達し得るでしよう。次元の流れに運、鈍、根と挨拶したつもりです。飽くまで健康に留意して邁進して呉れ給へ。

あとで苦米地先生のお言葉に、世に抜んでた緑丘会員はことに健康であるとの仰言られたことが印象的でした。

なお私のいう緑丘精神とは、よく他校卒業生に見受けられる、実にいやなエリート意識の過剰さ、巾着切り型の挑人出世主義者、或は独りよがりの独立自尊を口にする臭み、大言壮語して天下を取つたやうな顔をしますもの。こんないやなスクールカラーのないのが小樽の誇り高い伝統と私は心得ておるので、ちがいますか。昨年の夏、日赤病院の敬慢無礼な咽喉医師と手術室で激論を戦はして以来、その治療を休んでおりますので、未だに声がかすれ通して、お声き苦しなつたこと、よりお詫びいたします。



40. 6. 10 於銀行クラブ

「今日、この盛大な緑丘人の集いを目のあたりにして、感激に堪えませぬ。過ぎ去った昔の日を、いま静かに思い返しています。学校を出て、当時、この大阪の地で、何人の同窓の顔を数えられたでしょうか」

本日の七〇名余におよぶ出席者のなかで、最も古い卒業生であられる吉住さん(大五)は、静かな口調で一語一語、噛みしめるように語られ



学長挨拶

た。四十年総会は、既に申込人員が七十名を超え、加茂学長他来賓を迎え、稀な盛會を予想されたが、当日になつての参加者が、陸統としてつめかけ、遂に期待以上の盛大なものとなつた。

定刻を殆んど違わず開会となり、滝沢副支部長の開会の辞に始まり、石田支部長の挨拶、続いて、事業報告、会計報告が手際よく行はれる。役員改選は満場一致で別稿のメンバーが選出され、本年の御努力をお願いする事になった。

加茂学長が幹事長の要望に代えて簡潔且つ要領をえた挨拶をされ、些か長談議を期待した向きは肩すかしの感があつたか?

続いていまは亡き浜林先生の御長子の浜林正夫教授が多喜二記念碑設立の協力を依頼される。

さらに去る三月発刊された「小林多喜二特集」について、毎日、読売等の批評、国会図書館等からの要請に代えての寄贈等が墓目副支部長より報告された。

新人会員六氏の紹介があり、懇親パーティーに移る。

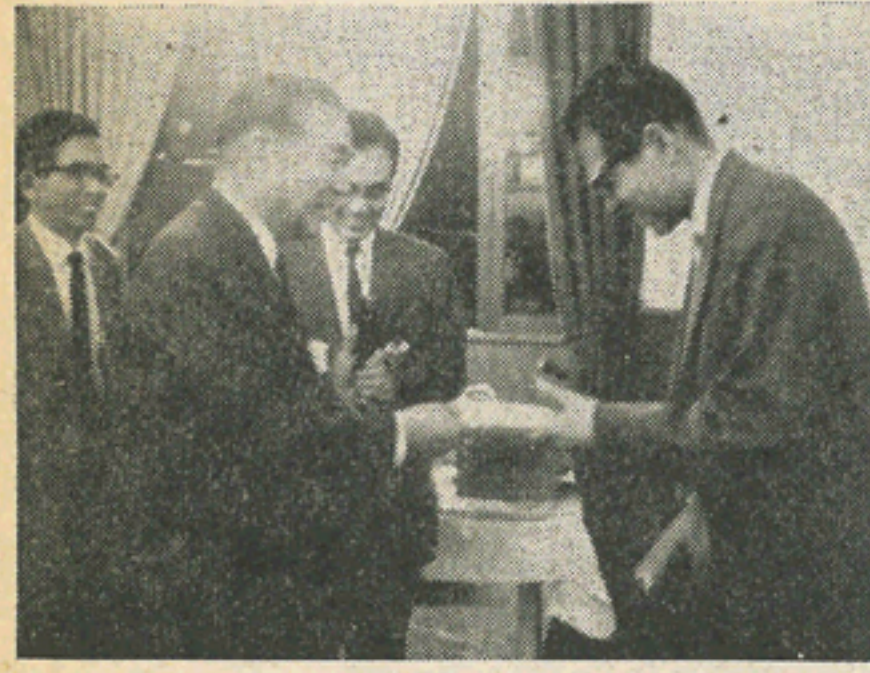
筆者は何時の緑丘会でも、常に一つの盛上りが見られ、あとあとまで強く印象に残るものが必ずあつたと記憶している。

最初に伝えた大先輩の吉住さんの感慨と、あとから書く「多喜二に関する特集号」と記念碑についての墓目氏と浜林教授の努力とが、正に本日の印象であつた。

吉住さんのお話の時は、すでに佳境に入つていた宴も、一瞬、静まりかえり、一片の私語もなく、氏の述べに聞き入つていた。

この時、すべての人心が、それぞれ、年代の相違と、従つて受取り方の差異があつても、等しく、学園を果出つた当時の事共が脳裏をかすめ自分の経歴と、緑丘の歴史とが重なり合いながら思い返されたのでないだろうか。

普段には、ほとんど全くといっていい位に、格別に意識の内になく、ころした時に、実に判然と甦つてくる。



多喜二碑基金を石田支部長から浜林教授へ

これも、幾多の苦心と労苦の積重ねによつて、今日の成果(学園と緑丘の隆盛)が結実されたにもかかわらず、あたかも夫が始めから、約束された如く当然の事として疑われない習性からかも知れない。

確に「鼓腹撃壤」は政治の要諦であつても、私達の心のつながりである緑丘会の会員としては、時には、他人まかせばかりでなく、自ら積極的意識をもち行動しなくてはならぬと自省する。

ころした意味で、歴代の役員のかたがたの御苦労に対し、いとも気安く出席させてもらつてゐることに些か申し訳ない感じがする。

次に特筆すべきは、昨三十九年の戦没学生記念特集に続き、本年春、小林多喜二特集号が発行されたことだ。

昨年の総会で、加茂学長が心から戦没学徒の永遠の魂の安らぎを祈り学園内の精神的遺産として残して行きたいと云われたあの熱気のもつ



若山幹事長は新会員を紹介する

た言葉が想起される。その一つの具象としての記念特集号は美事に完成されたのだ。

そしていままた誇り高き緑丘誌は多喜二特集号を出す事によつて、正にいゆる同人誌、同窓会誌をはるかに超えた声価を獲得したといつて過言ではないだろう。

何よりも墓目編集長の長年にわたる、家族ぐるみの御努力の賜と、心からその功績をたたえたい。

同時に学園に関係ない方々、ならびに同窓各位の執筆者、またこの発

刊に当り、声援を頂いた諸氏にお礼申し上げねばならない。

記念碑設立は、直接には学校や同窓会に関係がないが、小樽が、そして、緑丘が生み出した、この勝れた作家を、故郷の海をみおろす丘の上に、永久に安住させようとする計画に基き、現在、地鎮祭を終り、引続いて、発起人のかたがたの努力が続けられていると、浜林先生は報告された。これに答えて、若山幹事長の發議で万場異議なく、即座に、財が集められる。

諸氏の好意により集められた寄付金総額を三万三千元、万場拍手のうちで教授に贈呈される。

喜びを抑えながら「皆様の御厚意で小樽への良き土産ができました」と教授は心からなる謝辞を述べられた。

既に特集号、さらに引続く第四十三号で、多くの人が書いてるようになつて、この特集も、また記念碑も、多喜二を政治文学の渦中の人としてではなく、すぐれた芸術家として取上げようとする意図は正しく理解されねばならない。

特集の成功は、かの毎日新聞芸欄の説く如く、政治主義皆無なればこそと云いうる一面もある。

ころした考えかたは、昨年の「戦没学生記念号」の場合にもあてはまる。

政治制度や思想をのみ、表に打出し、若き人々の死が、丸で意味のなかつたような見方は全然排している。ここでは私達の同窓が、散つて行つたという、厳肅な事実と、私達の思い出が基礎となつてゐる。

さまざまな感慨の中にパーティーはなごやかに進む。若山幹事長がこの総会のため、そして七月十日に開催される関西エルム会との対抗戦の応援にそなえて作つた応援旗(エビ茶に白く商大マークと小樽商大を染め抜いた)が張られた中で、新入会員が歓迎ストームに代えて返礼ストームを元氣よく舞う。

校歌、行進歌、乾杯、万才

サツポロビール、アサヒビール、松村タオル、香り高き三芳園のパラ、雪印のチーズ・ハム、エム・シー・シーの世界の味、ほんとうに、この大阪支部総会を楽しくさせてくださいました。御礼申し上げます。(清水記)

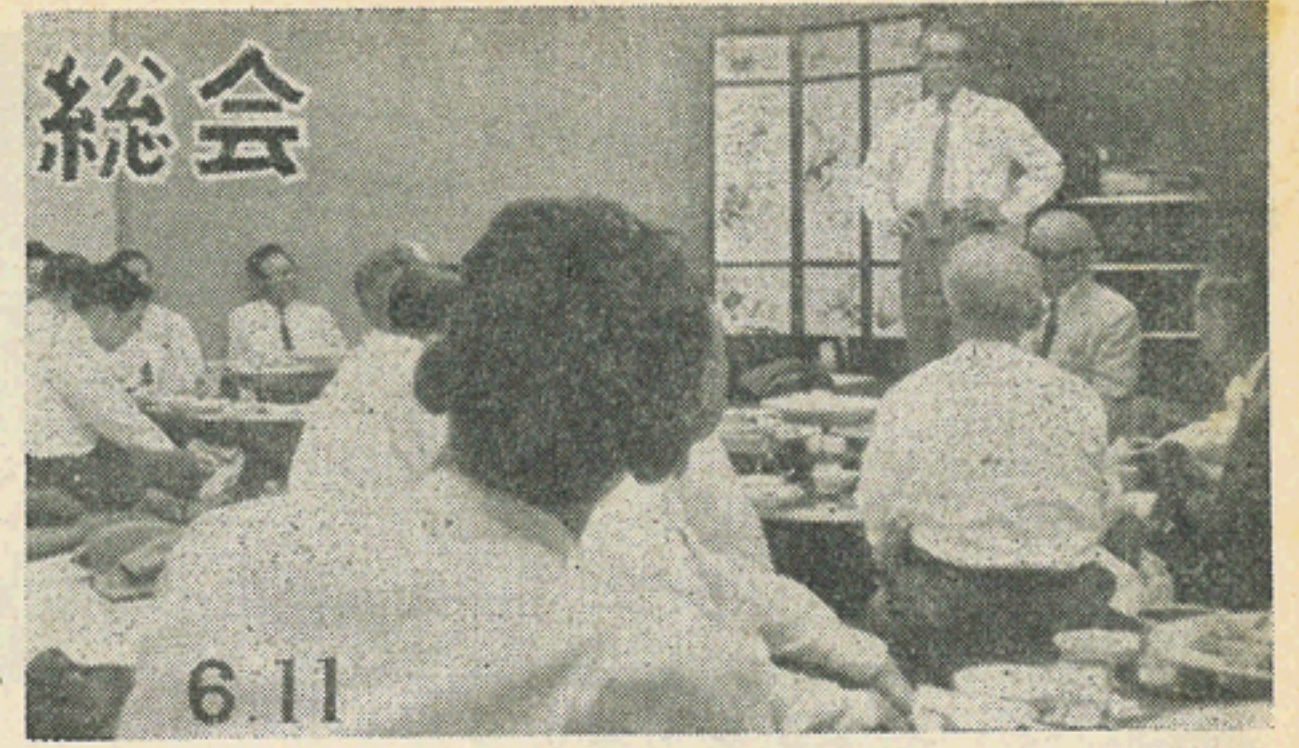
来賓
加茂学長、浜林先生、椎名先生、水垣敏正、森本秀男

新入会員
今井栄一、鈴木秀司、米田隆夫、浅間昭雄、柴田弘志、中野豊

新役員
支部長 石田 平八(S二)
副支部長 滝沢 中(S三)
墓目 英三(S一)
幹事長 若山永太郎(S一三)
副幹事長 木村 章三(S一三)
山内 孝(S一六後)
山本健一(S一六後)
堂城不二人(S二)
宮地 邦介(T一)
大久保鹿式(T一)
香川 清夫(T一三)
天野 雅司(T一五)
榎山 三郎(S三)
玉井 英雄(S四)
安在 七郎(S五)



新会員の返礼ストーム



神戸支部 総会

風薫る六月十一日、母校より加茂学長、浜林教授を迎え、緑丘神戸支部総会が神戸港を一望に、見わたせる高台の「天京」で行われた。本間幹事長の連絡がよく行きとどき、当日の参加者は来賓を含め実に二十六名という神戸支部はじまって以来の盛況であった。来賓は母校よりの御

二方と椎名先生と大阪支部の墓目副支部長、若山幹事長がはるばる参加された。

会は定刻六時を一寸過ぎて本間幹事長の開会宣言により始められた。先づ湊支部長が急用のため八家副支部長が開会の挨拶をされた。「神戸支部は母校から学長さんがお出でにならないと総会を開かないというそしりをまぬかれるためにも少なくとも年に二度位は総会を開き度い」と、これには全員異議なく賛成。次で学長の挨拶、浜林教授が最近の母校の様子、近頃の学生気質などについてユーモアを交えながら報告された。昔なつかしい寮が次々と新しくなっていく様子などをききながら昔を思いおこし、皆感無量のおももちであった。

次いで大阪支部から、わざわざ馳せ参じた若山幹事長より大阪支部の近況と関西エルクム会との交歓会等につき同氏独特の津軽弁とユーモアで皆を笑わせながら報告あり、また墓目副支部長からは「緑丘」のP・Rと先般の「小林多喜二特集」が残部少くしかも需要多しとの報告あり、たちまちその場で「多喜二特集」への注文殺到、と同時に「緑丘」への予約申込み大部あった。

本間幹事長から大阪支部、神戸支部育成に長い間力をそぐられた畑信太郎氏(大一一四)が九州へ転勤されたについて記念品贈呈の資金を呼び掛けた、ところ我も我もと予定額を上廻ったものが集り、非常に好成績だった。

続いて浜林教授より、小樽において小林多喜二碑建設資金募金の話が

あり、これも本間幹事長の発言で神戸支部は一万円を集めるということで即座に決定、直ちに贈呈された。この頃に到ると幹事長肝入りの料理、酒が続々運び込まれ、会の雰囲気は益々盛上って来た、やがて椎名先生の漫談をのぞむ声が起こり、先生独特のもの静かな声で先生が小樽を去った時のいきさつや、卒業生諸氏との濃やかな交友関係の事、渡辺龍聖先生のお墓の話などをされ、皆をして感慨にふけらせた。

やがて各自の自己紹介あり、若山大阪幹事長の要請で七月十日に行われる関西エルクム会との交歓会、芸能合戦に出場する選手の予選も兼ねてという事で渋いのだ、黄色いのがとび出し結局予選をパスしたのは松岡(大一一一)室(昭八)の両氏と



小林多喜二碑基金を手交する

んの行き届いた、お手紙の話、また水垣さんの椎名先生が三本のクラブでゴルフをされた、椎名哲学の話、本間幹事長が伴校長のお葬式が同氏の妹さんのお寺で行はれたという皆にとっては初耳の話などが、ことさらに感銘深かった。

それから、それへと思ひ出深い話に歓談はつきそうもないが、遠くから来られてる人もあり、夜も更けて来たので会を閉ぢる事とし、若手五、六名が舞台上に上り、その音頭で進軍歌が歌はれ、また「残念ならまたこんせ」とストームを踊る若人達にしばし昔を思い出し名残りつきな会をとちた。久方ぶりの同窓の集りて心残りの多い人々は、さらに散々伍々夜の街へ、さらに歓を深める為に出掛けた人もあったようである。

なお当夜大阪支部からお土産として持参の南部せんべいは、その中味をあてるというクイズの当選者である学長、椎名先生、鷺尾、乗金、両長老に配られた。また水垣さんから同氏経営のエム・シー・シー食品御自慢の世界の味缶詰が来会者全員に贈られた事を附記して御礼にかえた。

(亀井記)

昭和40年度 緑丘会

京都支部総会 6月12日

本年度、京都支部総会は母校から加茂学長、浜林教授並びに、小林先生、大阪支部から墓目副支部長を迎えて、六月十二日夕、開催された。場所は天下の名所、嵐山、渡月橋を渡った中之島の「桜宿膳」と風流人なみで、大堰川の流れを耳にした。定刻には相も変わらぬエネルギッシュな風ぼうの学長が会場に見えられ、早速支部員との歓談に入られた。総会は京都ならで



(左) 挨拶する森下京都支部長

はの和やかな雰囲気の中に進められたが、森下支部長からは京都北海道クラブ結成の話、浜林先生御出席もあって故浜林先生之助教授を中心とした過ぎし良き日の思い出話、また小林先生から歴代学長に引続いて加茂学長に贈られた「The efficient」の経緯の紹介があった。加茂学長持参の母校の近影の美しさには

暫し心を打たれたが、近く鉄筋に生れ変るとの話もあり、われわれのイメージに残る現母校校舎を惜しむ声も多かった。

加茂学長は東京、名古屋、大阪、神戸の緑丘支部総会に連日御出席にもかかわらず、お疲れの様子もなく学生時代から小樽商大の学長になられるまでの尊い経歴談を語って下さった。

浜林先生からは小林多喜二碑建立に關した依頼、墓目氏からは来年度緑丘会総会関西誘致の件について具体案の説明があり、京都支部の協力要請があった。

「所もよし、時もよし、人もよし」で話は尽きなかったが、山村幹事長の挨拶で散会した。

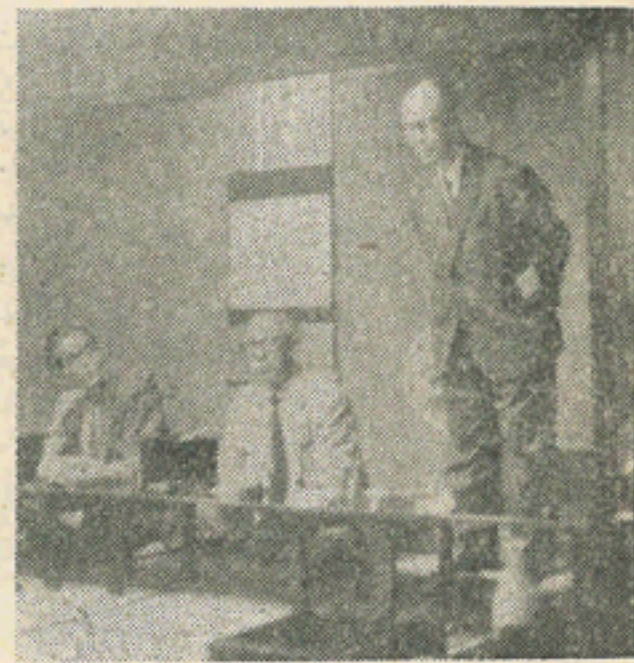
当日の出席者は次の通り

(来賓)

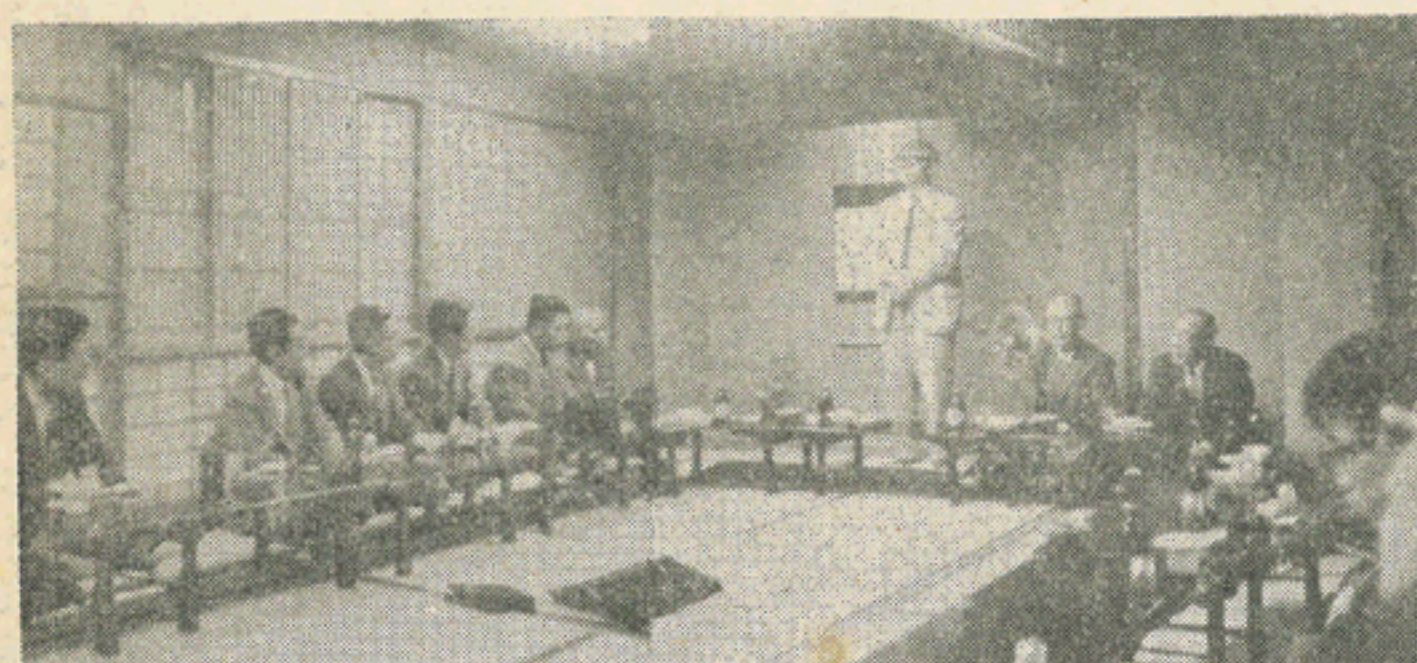
- 加茂 儀一 (母校学長)
- 小林 象三 (大阪工業大学教授)
- 浜林 正夫 (母校教授)
- 墓目 英三 (緑丘会大阪支部副支部長)

(出席者)

- 森下 弘 (大正十四年卒)
- 越智 明延 (昭和七年卒)
- 山村 太兵衛 (昭和十二年卒)
- 篠原 守 (昭和十三年卒)
- 堤 正五郎 (昭和十五年卒)
- 中村 平之助 (昭和十六年卒)
- 茶木 博治 (昭和二十五年卒)
- 小田 島和夫 (昭和三十一年卒)
- 吉川 浩 (昭和三十四年卒)
- 石丸 祥年 (昭和三十七年卒)
- 今 俊明 (昭和三十八年卒)
- 古水 祥進 (昭和三十九年卒)



(右) 小林象三先生挨拶 (左) 加茂学長挨拶

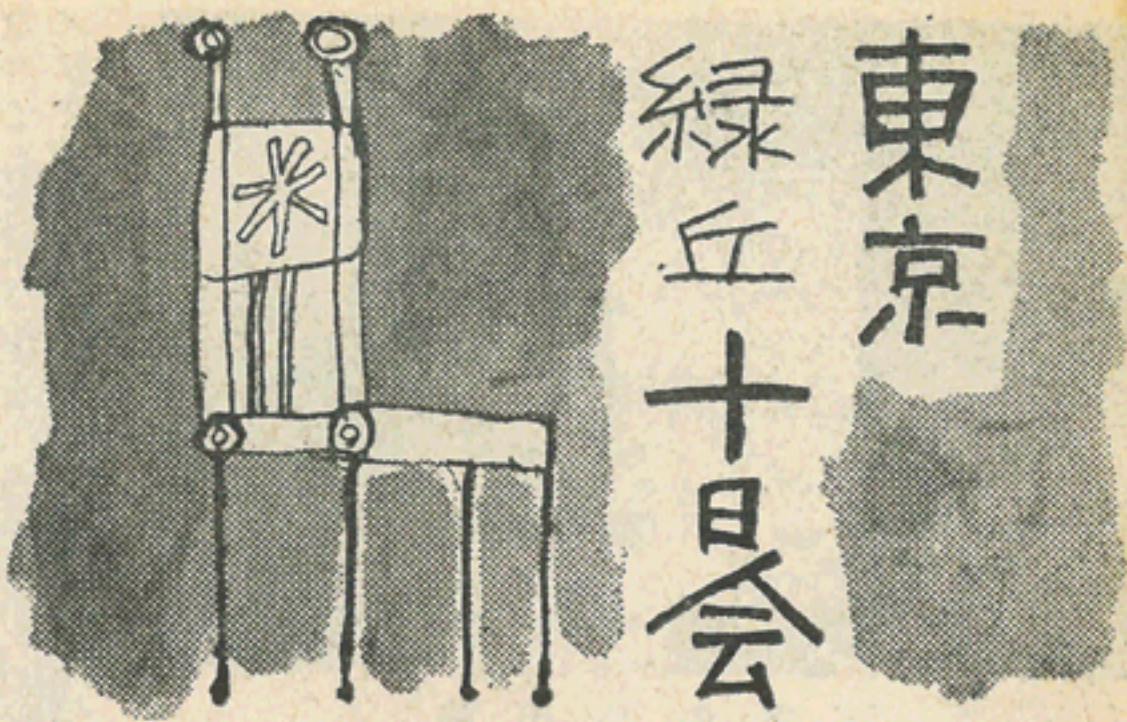


技術革新に貢献する



丸嘉機械株式会社

大阪(本社)・東京・名古屋・岡山・広島・姫路・仙台

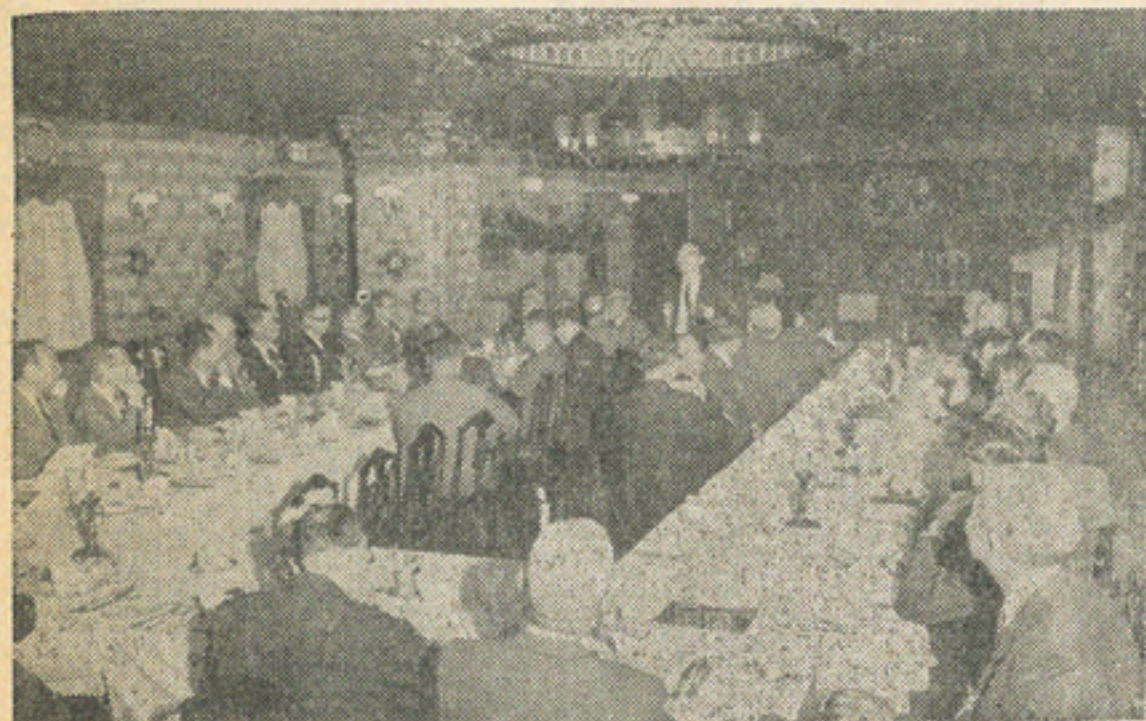


東京 緑丘十日会

今回は東京タワー近くのレストラ
ン「ボルガ」で純ロシヤ料理を賞味
しつゝ万歩クラブ理事長大矢先生か
ら「体力の長持ちは足腰から」のお
話を承ることになりました。

昭和五年卒業の当番幹事の方達が
従来と趣向を変えて見度いと特選に
選ばれたところだけあって豪華絢爛ロ
シヤ帝政時代を偲ばせるような設備
と雰囲気にもまれたレストランでし
た。大矢先生は老人病の権威者であ
り、お話を仲々面白く聞きましたの
で、その概要をしるします。「吾々
の健康は肉体と精神のバランスのと
れたところにあるが、一般的には精
神生活の方面が忘れられ勝ちであ
る。たとへば定年退職の人が楽隠居
した場合と引続き仕事をしている場
合とを比較して見て、多くの場合後

者の方がより健康な暮らしをして居ら
れることが多い。従って精神生活の
面について多くお話しした度いけれ
ど今日は万歩クラブ理事長として肉
体的の面についてお話し上げます。
如何にして健康を保持するかとい
うことを簡単に申上げますと「頭と
口と足」ということになります。
頭ということは先程申上げたよう
に適当に頭脳を使うということであ
りまして、口とは生活上の栄養の
摂取ということでありまして。
これは何も贅沢な食物をとるとい
うことではなく、脂肪、蛋白、澱
粉、ビタミンミネラル等の調和のと
れた食生活をするということであり
ます。一般の方々では何をどれ程宛
食べればよいかということですが極
く簡単な方法としては食品を赤青黄



の三つに分類致します。
赤は蛋白質(肉類) 青はミネラル
ビタミン類(野菜、海藻等) 黄は澱
粉質(米、パン類)を意味します。
これを見た目で、ほぼ同量宛食べれ
ばよいのであります。
これを自動車に見立てますと、赤
は原材料、部品に当り、青は潤滑
油、黄はガソリンに当るような役割
をしております。
次は足であります。人間の体も
余り使はぬと機械と同様にサビが付
きます。従って足に限らず、適宜に
全身の運動は必要であります。特
に脚部を鍛へることは最も必要であ
ります。

それも週に一回とか、二回とかで
は効果が薄く、少くとも毎日一万歩
位歩けば健康に非常に役立つこと
は確かであります。
一万歩と申しますと、約一時間十
分程度の歩行になります。皆さん
が毎日通勤の往復にどの位の時間歩
くかを計算されて、不足の場合は停
留所の一つか二つ前位で降りて歩
くなど工夫されては如何かと思いま
す。自分には出来ない。あるいは時
間がないと申される人もありますが
これは出来ないのではなく、やろう
とする気持がないからであります。
どうか健康のため是非実行されん
ことを希望いたします。
以上のようなことをユーモアた
ぶりに約四十分位お話しになり、参
会者四十五名、興味深く聞き楽しい食
事を終へ八時過ぎ散会した。
(出席者)
大三 下吹越栄吉
大四 佐々木周一、松本浩三

大五 青田滝蔵、吉田博

大七 渡辺金吉

大八 野尻善次郎

大九 吉岡義二

大十二 小沼武文

大十三 古関周蔵、中尾晃、広野允

幸、久保田敏三

昭二 津久井七雄、神田正英

昭三 武田武一、長野真士

昭四 亮、三浦強太、根田順治、

道善宇内、野坂和太郎

昭五 大場忠久、佐藤清定

昭六 渡辺勘吉、河野通雄、末永

俊治、越前谷順治、山田勇

上谷豊馬、高橋勇

昭七 山田進、永島豊次郎、古沢

精吉、西堀房夫、佐々木正

昭八 花沢勉

昭九 八木勇平

昭十 野口正二郎

昭十一 高橋正敬、高木重信

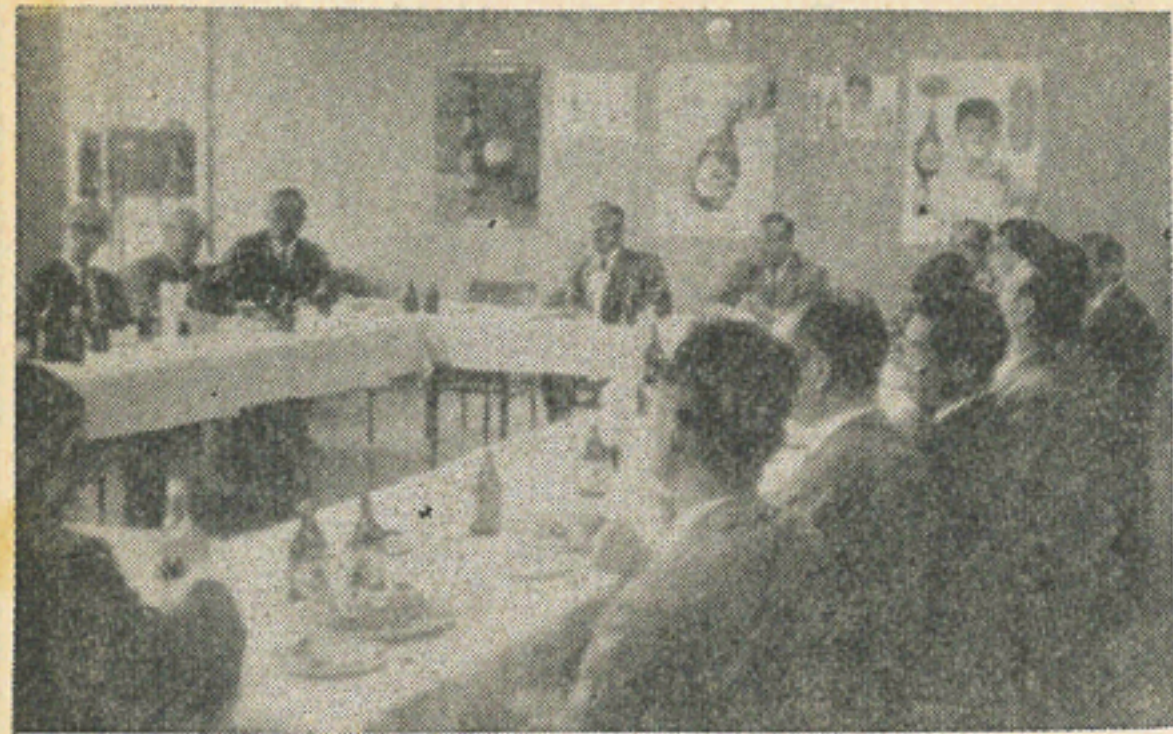
昭十二 石川孝一

昭十三 福田次助

緑丘人集会の場所を提供
▽銀座東七丁目双葉ビルの緑丘
会事務所は緑丘人集会の場所と
して、ご利用下さい。(十五名
までの集会)
▽クラス会の催しのある場合、
東京支部事務局まで年次、開催
日、場所等予め御通知下さ
い。「緑丘」掲載原稿の御世話
をします。

大阪支部十日会 五月例会

五月十日サツポロビール八階会議
室で十日会が開催された。
若山幹事長から緑丘人の近況報告
(転任者、転入新出席者等)があり
今回九州へ転出される畑元大阪副支
部長(大一一)が挨拶。大阪を発つ
に当り、「緑丘」発刊当時より相談
を受けて来た自分として大阪支部の
会員に御願ひがあります。それは私
が今九州へ転任するにあたって、本
部会報に九州同窓会の記事の出てる
のを見たとき、誠に心強さを感じた
のであります。この「緑丘」も他か
ら大阪へ来る人々に同じように、ど
んなにか力強さを与えて来た事かと



思います。「緑丘」をさらに発展さ
せるために自分と同期の人々の五人
分の会費を立替えて会員を増やすこ
とと墓目君に之れ以上の苦勞をかけ
ぬだけの配慮があつてよいのではな
いかと思ひます。どうぞこの事の実
現されますことを御願ひします。
と結んだ。
堀池氏(昭五)から卒業三十五周
年を箱根で開催された模様を会員に
説明された。
本日のゲスト水垣敏正氏(昭五)
の「味のまんたん」二十五分にわた
つて博学の一端を披露した。十三才
味の郷愁、ビールとオードブル、魅
力ある料理、ムードのある料理、中
国の文字と魚の名前など、楽しみの
中食事は時間の経過を忘れさせた。
エム・シー・シー食品の缶詰「世界
の味」を会員全員にお土産として寄
贈いただいた。

▲出席者
宮地邦介(大一一) 喜多村、大久保
(大一一) 香川(大一一) 畑(大一一)
四) 外村(大一一) 石田、渡辺(昭
二) 樋山(昭三) 堀池、水垣(昭
五) 石井(昭六) 墓目(昭一一) 内
藤、矢野(昭一二) 若山(昭一三)
山本健一、高橋(昭一六) 大崎康市
(昭一九) 桜井純一(昭二三) 竹中
正親(昭三一) 角响(昭三四)

味のまんたん

水垣 敏正 (昭五)

今日は時間がありませんので、格
別これといってまとまった、お話を



申上げる訳でなく、味についてい
ろいろ平常考えている事を申し上げ
ましよう。
味のまんたんの郷愁がある」とい
われています。このことは十三才ま
育った郷土の味が本人の嗜好を支配
するといふ事をいっているのです。北
海道で育った人が関西へ来て味わ
うの味が水くさい、味が薄いと
いふのも、その一つの現われであり、郷
土の魚がうまかったというメイ
は遠くはなれた関西に来て未だに
忘れられない。所が実際は北海道の
味よりも関西の料理、魚、肉の味も
遙かに美味であるのを郷愁が邪魔を
している例がある。お互にこの事は経
験済みでありましよう。

従つて児童の学校給食は今やミ
ルクとパンの給食で食事はアメリカナ
イズされつつある。この十三才の味
がやがては完全に全日本を支配し、
大きなアメリカ政策の線に沿つて進
む事である。人間の細胞は七年目
に入れ替わるという説もあるチーズ
やトマト、カレーなど、吾々年代の
子供の時には食べにくかつたもので
も食べ慣れてくると新しい嗜好とな
る。親の体質まで変えてくる。そし
て、その子供は生れた時から何の障

あらゆる建設の

設計・施工



設備全般
空調衛生
・衛生
・伝事
設備工
・配管
・配給

日邦工業株式会社

取締役社長 井 藁 政 市
相 談 役 宮 地 邦 介 (大11)

本社 大阪市西区南堀江1丁目3番地 電話大阪 (531) 代表 8461~5番
出張所 堺市浜寺石津町東2丁目702番地 電話堺 (41) 0 7 7 6 番

卒業四十周年記念 十五日会全国総会

西川正己記

大正十五年春三月、同勢一四六名
がおのがじし百種百態希望に胸ふく

らませて緑ヶ丘の母校を巣立ちして
から早や四十年。高く理想をかかげ



希望を抱きつゝ、雄図空しく、故国に
或は異郷の地に幽明境を異にした学
友既に四七、生存者九十九名の第十
三回小樽高商卒業生の全国的な集い
が東京十五日会幹事、緑ヶ丘会幹事で
母校後援会事務局局長の神田正英君か
ら全国同期生に案内状が送られて一
ヶ月後の五月二十三日午後から二十
四日午前にかけて熱海市熱海三六一六
富士屋ホテルで開催された。

一番がけに筆者がホテルの玄関に
着いたのが十一時三十分。待つ程に
名古屋から増田常次郎君が馳せて久
しぶりで堅い握手を交わした。統一
て大阪の栗原軍司君来着、懇親会は
夕刻開催という幹事の思惑に時間は
たつぷり。西は長崎、東は水戸、全
国各地から馳せ参じた面々が一室に
久闊を叙する風景は実に見事であつ
た。ニュツと控室に顔出して、し
ばし皆の顔をにらめつけて、さとお
もむるに「僕が誰だか判るかい」と
口を切つた眼鏡の大入道は、これな
ん長崎から遙るる参会の柴田栄次
郎君。輪に似合わぬ若々しい漆黒の
髪を七三に分け無言で室に入つてし
ばし「判らんかな」の歓声を放つ
や否や誰かの口から「あ、安生君」
の叫びが漏れて四十年振りの自己紹
介が済む、テーブルをかこんで顔々
々を合せて二三分、一こと二言話し
合えば何時しか四十年の歳月は消え
うせて速く昔の青春を呼び戻して語
る誰彼の面にはまざれもない面影が
重なり合つて、以前に交らぬ友情の
しみじみ湧き上るのを感じる。

1の歌を待つことなしに一こと二こ
と口を開けばそこにはまざれもない
緑ヶ丘の昔の誰彼がある。実に取りが
たい、尊い、深いつながりである。
開会まで約四時間余り、次々に迎え
る級友の挨拶から話に花が咲いて、
実にぎやかである。やがて幹事
来。各自の部屋割を察別にするこ
とに決める。ぼくは四寮の増田常次
郎、松村義公、川上貞光、祐村修
平、村田錦一の諸君と六人。最上等
の一室におさまる。同寮のよしみと
申すものは、また格別である。同食
同鍋の間というものは時に肉身に似
た親和感を覚える。一言一句、言葉
のはしほしにもあゝ、そうだったと、
あの当時のその人の特徴が伺われ
る。ことに顔の輪廓というものは変
らぬもので白髪や無毛にカムフラ
ージュされていても見れば見るほど昔
がそのまゝ、眼前に彷彿として実に懐
しいものである。

やがて母校を偲ぶ映画「我が母
校」が映写される。そこには完全に
昔のまゝの母校々舎や懐しい旧師の
面影、教室風景に点綴される若き日
の学園生活、寮生活、対北大戦、運
動会、入学式、卒業式の幾多の幻影
が画面と重なり合つてしばし古き学
園生活の中にとけ込む思いがした。
残念なのは発声機械を持参しなかつ
たとかで、初めから終りまで完全な
サイレント映画になつて了つた事だ
がある。先生方の御声も聞くことが出
来たら一層僕達の若き日の雄心をか
き立てられる思いがした事である
。本日やむを得ぬ事情のため欠席
の中野清一君から金一封、近藤徳弥
君から例によつてピールの寄贈があ

り、大阪の天野雅司君から次のよう
な電報が到来した。「ドウキユウカ
イニシユツセキデキズザンネンミナ
ミナノオケンコウトオタクコウイノ
ル」

宴中ばで筆者の持参の「思い出の
歌」プリントに従つて行進歌、応援
歌の数々を高唱したとき宴会の雰囲気
は完全に四十年の昔に戻つてい
た。往を語り、さらにまた将来を談
じ、旧友相励まし鋭気をさらに新た
にする。この同級会の集いほど楽し
い人生の快事があるか。期せ
ずして五十周年を待たずに、さらに
二度、三度この会合を持つことが議
せられ最終的には一橋大の大平教授
の提案「今年は四十年、来年こそ
は本もの、満四十年卒業記念」だか
ら来年秋にでも是非今年以上の会合
を待とうということになり、万事を
神田君に一任することになった。関
西で、あるいは名古屋でとの意見も
出たが結局は事務局長一任に一決。
今年来会されなかつた諸氏も是非そ
の際には万障繰り合せ御参会を願いた
いものである。
二十四日朝食の会合は我等の同級
西野嘉一郎博士の藍綬褒章受章の祝
賀会と化した。

六月十五日午後五時より富山電気
ビル四階において、緑ヶ丘会富山支
部の総会を開いた。支部会員二十五
名の内、参会者十九名。藤瀬支部長
より昨秋藍綬褒章下賜の栄誉に浴し

富山支部のつどい

公、増田常次郎、吉田茂平、奥原
貞三、津久井七雄、大平善梧、安
藤浅次、安生和一郎、石部敏雄、
大塚武雄、古屋隆作、森雄一、白

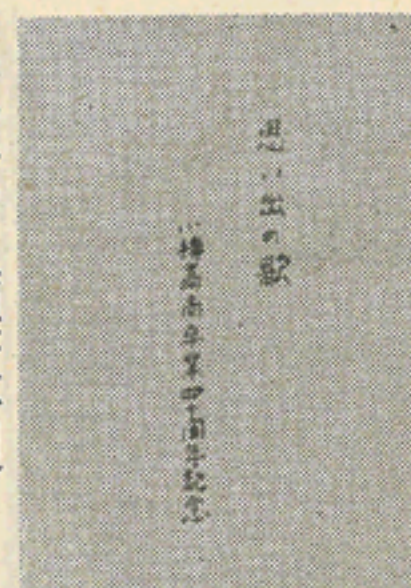
木小一郎、三橋勝、西野嘉一郎、
栗原軍司、神田正英、西川正己、
笠原章雄、竹内隆、近藤徳弥
以上二六名

たる金岡辰男氏に対し祝辞を呈し、
新入会員高橋正彦、柴田勇吉、池田
英彦三君を紹介し、特に今秋北陸銀
行より米国へ留学を命ぜられた柴田
君の行を壮んにするところがあつ
た。神田幹事より会務報告の上、一
同晚餐を共にし、記念撮影を了して
八時近く散会した。(神沢記)

〔写真説明〕
前列右ヨリ

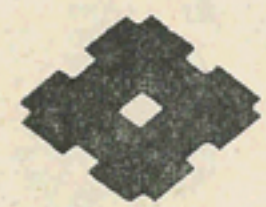
- 八島 勝己 (大正一四)
- 西田 英夫 (大正一五)
- 金岡 辰男 (大正一四)
- 藤瀬 幸造 (大正九)
- 山田 清治 (大正七)
- 河合 邦吉 (大正一三)
- 飯野 直義 (大正一〇)
- 古戸 喜策 (大正一〇)
- 後列右ヨリ
- 高橋 正彦 (昭和二六)
- 八島 健三 (昭和三〇)
- 石塚 磐夫 (昭和二三)
- 浜井 清一 (昭和一一)
- 上勢 清次 (昭和四)
- 野界 作成 (大正一三)
- 池田 英彦 (昭和三二)
- 柴田 勇吉 (昭和三〇)
- 城宝 正治 (大正一一)
- 神沢 重治 (大正一一)

当日参会者。(順序不同)
吉田忠正、柴田栄次郎、村田錦
一、祐村修平、川上貞光、松村義



出た。出た。歌

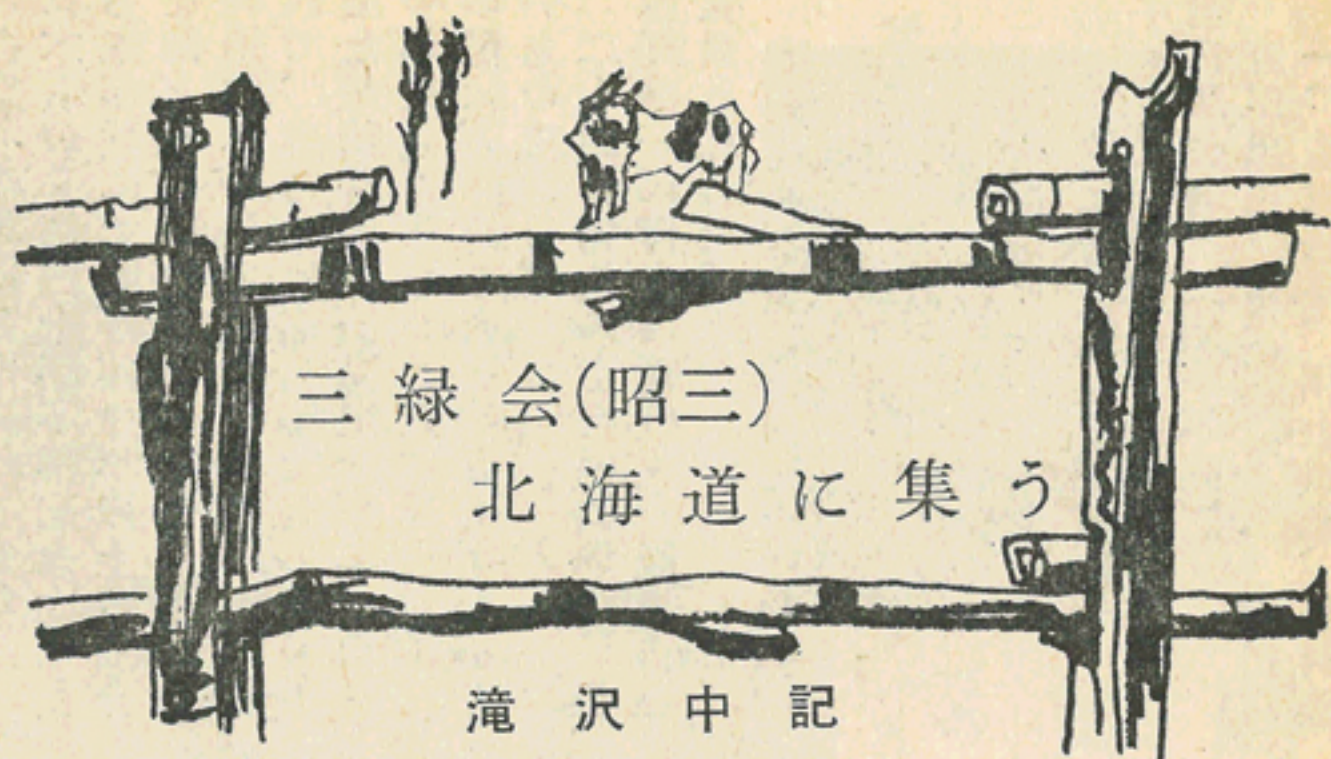
神田正英君の自筆電報



住友海上火災

取締役社長 溝口周次

本店 東京都中央区八重洲2丁目1 TEL(272)3251
大阪支店 大阪市東区北浜5丁目 新住友ビル TEL(203)2101



北海道の広々とした所でゴルフをやるという議が起り、大会前日十八日苦小牧樽前カントリークラブで、技を競った次第。十七日夜迄に同カントリークラブロッヂに、集るもの八名(小林、武岡、佐藤、道善、佐竹、大内、甲斐、滝沢、)その夜の事は尽きず御想像にまかせ。翌朝札幌から西村君が加つて九名となつた。生憎終日雨で、冷かつたが、一同元氣、とうとう二十七ホールやつた。前夜から馬券を売っていたが、冷雨のため大穴(?)となり、小林君の優勝。馬券は、大岡君と、それから自分を買った。小林君が、大岡君。小林君は、優勝の賞金と馬券でロッヂ代を払って尚余りあつたのか?

夕刻一同車を連ねて、ニューサツポホテルへ行く。夜の行動は各自自由で、誰が何をしたか小生もそこまでは、報導の自由を、持たぬので御勘弁願度い。

本番

三緑会は、卒業後二十五周年の時から、五年目毎に、熱海で大会を開いて来たが、前大会時の、申合せにより卒業後初めて、小樽に集つた。この大会は、札幌在住の諸兄の並々ならぬ御苦勞で、至極円滑且つ、楽しく取運ばれたので、本稿も幹事に御願いしたが、編集子藤目氏から「早くしないと七月号に、間に合わぬ」との連絡があり、失礼ながら小生が、荒筋を御紹介する事とした。

前夜祭

東京在住の諸兄を中心として、北

く。玄関前で、記念写真撮影。庭の芝生が、傷んで、昔の面影はなかつたが、諸々の建築が完成後手を入れて美しくするとの事であつた。

母校に一時頃別れを告げ、旭展望台に立寄り、多喜二胸像の立てられる場所を確認したり、小樽及び近郊を、一望の内に見て、花園公園での野球、ラグビー戦、妙見川畔の情緒等一人一人異つた若き日の思い出に耽つた。

昼食は、銀鱈荘でとつたが、此の時から、大野、原岡、室谷の三恩師が、加はられた。

三時頃そこを立つて懇親会場朝里川温泉観光ホテルへ向う。一部屋三十四人の割当て、別々になつたが、六時大広間に集合。

西村幹事の心温まる歓迎の辞、武岡代表の挨拶の後、大野先生から吾等学生時代のスツパ抜き演説があつたが、その中には「今だから言うが」というような話もあつて一同胸を打たれた。原岡先生の話、室谷先生の元氣の良い歌もあつた。全員自己紹介に大部時間をとられたが、一同大話話に花が咲いて会場は、ザワザワガヤガヤ。

最後に校歌、行進歌、応援歌等出ぬ声を絞って若き日の情熱は今一度の意気であつた。

幹事、肝入りの記念品を手に手に部屋に、引上げたが、その後は是亦尽きぬ話に夜を徹した者もあつた様子。

翌二十日朝食後十時頃次回四十年大会(妻君同伴)を京都において開催することを、約して解散した。

昭和四十三年より早く来い。

- △出席者名▽
- 岩浪、内田、大内、加藤(勝)、甲斐、加藤(羽)、北山、倉島、久保、小林、根田、佐竹、坂田、佐藤(純)、鹿野、白浜、鈴木、杉山、滝沢(中)、谷口、武岡、滝波、土屋、道善、常盤、富山、中原、西村、野村、野坂、野島、樋山、深見、藤沢、本多、湊、三浦、山下、山宮、吉川、渡辺(羊)以上

手塚寿郎教授特集号

来年度手塚寿郎教授特集号を発行する計画を建てました。皆様の中でゼミナールをとられた方、同期生で先生の講座をとられた方など沢山の手塚教授と交友のあつた方が居られる事と思ひます。

何卒この特集号を成功させるため今から御準備下さいますようお願い申し上げます。

手元の卒業時のアルバムを見て、この特集を成功させるために、どなたに執筆させるのが最も適当であるか、またゼミナール員などの御氏名(住所)もお知らせいただきたいと存じます。尚写真、ノートなど、その他参考文献など拝借出来ませれば幸に存じます。(編集部)

札幌昭九会



母校学生会館ロビー正面に掲げた「まどい」真島元枝画伯

日時 昭和40年5月23日(日)
場所 母校学生会館及銀鱈荘

三十有年前の学生時代に戻り、暫しの時間を過し、午後四時会場を銀鱈荘に移し、学長より母校近況を承り、懇親会に入った。近代書家に刻した長谷川運牛君の作品の披露と寄贈も行はれ、一献傾けつつ談笑、洵に楽しい一夜を過し九時散会した。当日の出席者は次のとおり

- 間中正次、岡本忠一、中川健三、野口誠一郎、安田正義、宮崎義夫、花岡義夫、細山寛、松本允史、藤本孝吉、福山俊明、長谷川正治、清水孫四郎、大阪豊、新海誠、吉田平太郎、沢井正二、藤田精一、金吉信吉。

三緑会、母校玄関前で記念撮影



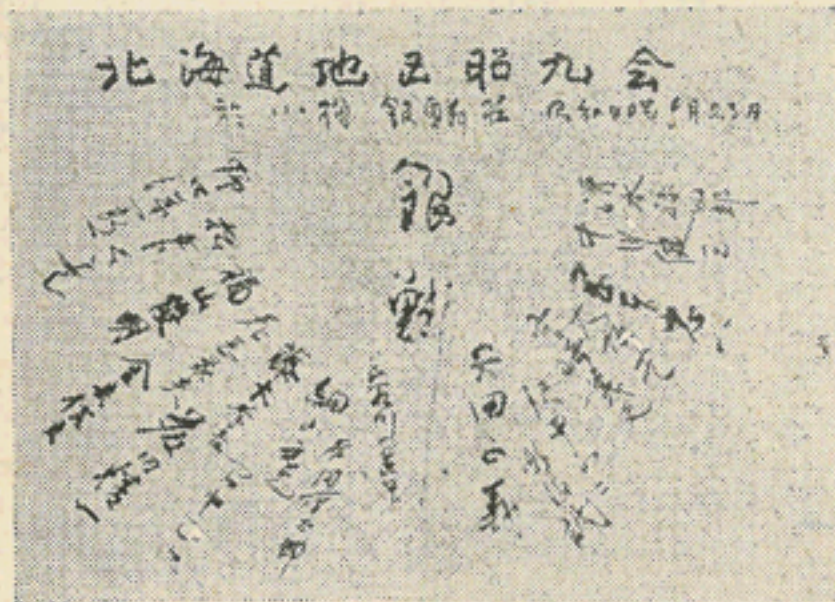
- 渡辺 鹿野
- 野島 野村
- 滝沢 加藤
- 深見 樋山
- 倉島 野坂
- 湊 山宮
- 白浜 岩浪
- 甲斐 久保
- 山下 土屋
- 常盤 本多
- 佐藤 吉川
- 武岡 小林
- 内田 佐竹
- 富山 根田
- 三浦 藤沢

在札幌九会は毎月第一金曜日にテレビ塔二階グリルで月例会を開いているが五月例会は札幌合同で母校学生会館で行つた。

室蘭より長谷川正治、留萌の中川健三、旭川の沢井正二君の珍しい顔も見え、地獄坂を登って集る者二十名。

卒業三十周年を記念し、昭和九年卒業生が母校に寄贈した油絵「まどい」(真島元枝画伯作)を学生会館ロビーで観賞した後、学園近代化の諸企画の一つである計算センター及び学生会館を見学した。

近く姿を消すこととなる本館、合併教室、商品館、屋内体操場に赴き



緑丘会札幌支部
昭和四〇年度定時総会

六月十九日午後五時半よりローヤルホテルにおいて開催した。

当日は母校より、加茂学長及び木曾、伊藤、実方、麻田、久野、諸先生が出席され、また室谷札幌短大学長の御出席をいただき百七十名を超える会員が出席した。

昭和三十九年度の決算承認、役員改選の議案は三十分で全部終了、席を変えて、支部総会の恒例行事である新入会員歓迎懇親会に移った。

富樫支部長の歓迎の挨拶の後一同乾杯、続いて新入会員二十五名の諸君が次々と自己紹介を行った。

実社会三ヶ月新鮮な新会員の挨拶には出席者一同拍手を以て激励、当日行われた札幌支部ゴルフ大会の成績発表と支部長杯授与の行われる頃は宴いよいよ酣となり、午後九時五色の噴水の映える中に大円陣をつくり、校歌の合唱と母校及び緑丘会の万歳を三唱し閉会した。

六月十九日現在新入会員を含め札幌支部員名簿(加除訂正済)の残部があります。一部百五十円、送料五十円、申込先は緑丘会札幌支部へ申込み下さい。

広告についてお願い

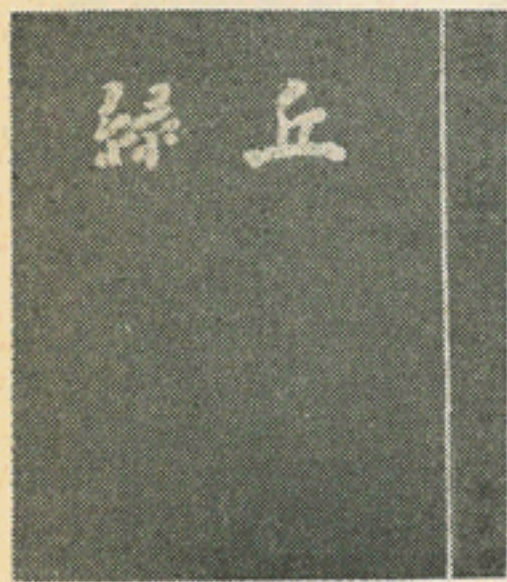
「緑丘」発展のために広告の御協力を御願ひ申し上げます。

一回(一頁全段) 一、〇〇〇円
一回(1/2段) 六、〇〇〇円
一回(1/4段) 三、〇〇〇円
年間契約の場合は割引いたします。代金は掲載後で結構でございます。

緑丘綴じ込み表紙

申込受付

「緑丘」綴じ込み表紙ができています。三カ年分の「緑丘」を綴じ込めるよう計画しました。製本の表紙にもお使い下さい。希望者は二〇〇円お送り下さい。大阪市東区道修町三丁目 塩野義製菓部 藁目英三宛



大正十三年クラス会

場所 緑丘会東京支部事務所

今年に入って最高の暑さが、六月の最終日、温度計が三十一度何分と久しぶりに集まった顔触れは

中尾晃、新沼達郎、二馬吉郎、高浜年尾、久保田敏三、百田嗣郎、奥平信作、田中修吾、広島進、立花英二、小林才一郎、谷弥太郎、古関周蔵。

の十三名。場所は東京のド真中東銀座の母校事務所。

事務局長神田正英氏の格別の御好意で午後四時には部屋、小道具の整備が出来て万事好調に準備を終了した。

話題は母校の近況報告と、八月十四、五日に行はれる卒業四十一周年記念クラス会の下打合せであったが集る面々何れも元氣一杯、人生の後半期を充分立派にやっていることが談笑の中に横溢していた。

なお会員百田嗣郎君は久しぶりに北海道生活から再び東京

Lily の缶詰

野田喜商事株式会社

(資本金 2億5千万円)

取締役社長 野田喜三郎
缶詰部長 今井謹二 (昭19)

本社・大阪市北区此花町2丁目39番地
電話・5331 (大代表) 0123 (直通)

生活に戻られたことを報告し、併せて毎度蔭でこっそり幹事を後援してくる谷弥太郎君に紙上から謝意を表しておく。
八月の小樽市でのクラス会出席予定者は今日の所東京勢は約十名の見込。
昭40、6、30 幹事 古関生

三代校長

苔米地英俊先生特集

原稿募集締切 八月三十一日

苔米地英俊先生は明治四十五年(講師)から昭和一〇年まで小樽高商教授として、また昭和一〇年四月から伴房次郎二代校長のあとを受けて校長となり、我々を薫育下さったのであります。「緑丘」がここに先生の母校在職中(三十四年間)の遺徳をしのび、特集号を発刊の計画をすゝめておりますので、その成就を期待しております。ついでには御多用中誠に恐縮乍ら皆様の御執筆を煩わしたく下記要領にて御協力賜りますようお願い申し上げます。

(東京支部事務局長 神田正英)

原稿枚数 四〇〇字詰原稿用紙四枚

原稿用紙一〇枚以内(一六字×一〇行)

原稿送付先 東京都中央区銀座東七丁目六番地 双葉ビル内
緑丘会事務局 神田正英宛 又は
大阪市東区道修町三丁目一二番地 塩野義製菓部内「緑丘編集部」
藁目英三宛

なお、原稿の初めに①卒業年次、氏名、原稿の末尾に②勤務先及び役職

名を御書き添え下さいますようお願いいたします。

「緑丘」四〇年度第一号品切れ

年間七〇〇円の「緑丘」誌代を送る事は相当の勇気がいるものです。高いとも決して思っていないのだが兎角送りにくいものです。一方印刷する方は見込印刷をしています。多分あなたなら申込んで下さるだろうと。

そのあてがはづれた時は誰れが、その請求を引きかぶるかという編集部です。そして、その代金は先に申込んだ方々のお金で支払いをしていくのです。

どうぞ安心して発行を続けさせて下さい。「緑丘」の中に振替用紙の入っている方はすぐ、お申込下さい。五月号は四〇年度第一号でした。七月号になってもまだ送金がない方もあります。三月号からお願いしているのに。

途中でお申込下さったとしても第一号は品切れです。どうぞ、この号に振替用紙の入っている方！至急御申込下さい。

栄転

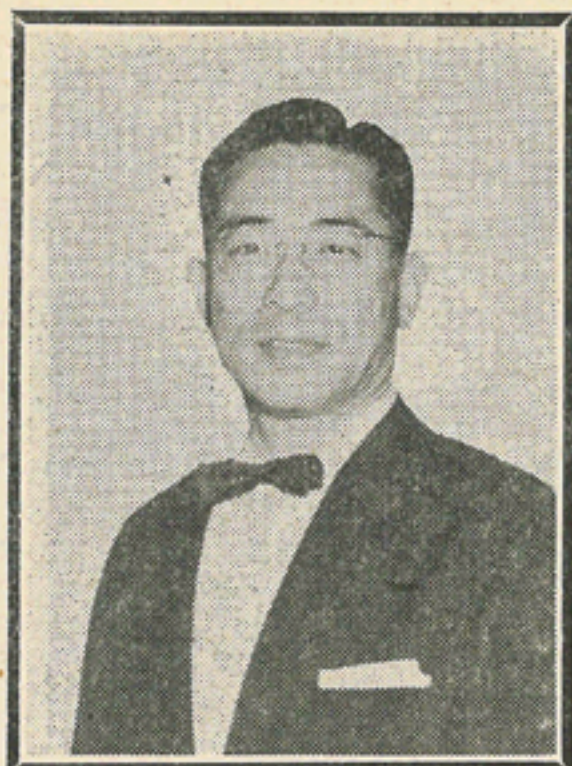
- 鳥山泰雄(昭二) 日新火災常務機械計算室長、企画室長、事務管理室長
 - 平間義(昭一〇) 日産化学工業 経理部長(人事部長)
 - 八幡藤次郎(大一一) 興亜火災海上保険監査役(常務)
 - 磯貝祐司(昭三二) 東海銀行 人事部 研修課(札幌支店)
 - 矢島実(昭三三) 三陽商事 九州事務所(本社岐阜市)
 - 福岡市西方寺前町四三番地 永井敏太郎(昭二八) 北海道銀行 寿都支店(釧路支店)
 - 寿都郡寿都町字大磯町二二 滝沢中(昭三)
 - 神戸市東灘区本庄町深江字神靈町三六浜菅屋マンションF五〇一
- 住所変更
- 川岸己代治(昭一〇) 東京都渋谷区大山町二四一五
 - 青木勇夫(昭二) 会津若松市湯川町一ノ一四
 - 岡林豊樹(昭二二) 東京都国分寺市中藤新田四十番地
 - 磯貝祐司(昭三二) 名古屋市中区和区築園町一五〇
 - 名古屋市昭和区築園町一五〇
 - 東海銀行 築園町家族寮一〇三号
 - 吉川優幸(昭一一) 東京都北区西ヶ原一丁目三六番R
 - B四〇四号
 - 宮嶋巖(昭一一) 東京都杉並区下高井戸町四ノ九三六

岡田公認会計士事務所

公認会計士 岡田 一次 (昭和12年卒)

(事務所) 小樽市花園町東2丁目16番地 電話②7067番
(自宅) 小樽市汐見台町14番地 電話③1811番

故追分努君を憶う



小樽西別院斎場

佃 弘

(昭二二) 去る五月二十八日午後七時頃私は

追分支店長が千歳一札幌間の弾丸道路で自動車事故に依り病院に収容されたが既に駄目らしいとの電話を会社の宿直者から受け、一瞬全身の血が抜けて行くような衝撃を受けました。

取るものも取り敢えず収容先の恵庭町の病院に車を走らせたが、どうしても事実とは思はれない、何とか間違いであった欲しい、もし事実であつても怪我だけであつて欲しいと祈らずにはおられなかつた。二時間の何と長かつたことか、病院に着くなり手術室に飛び込んだが、其処にあつたのは再びの云はぬ同君の悲しい姿でした。どうしても信じられない。二度三度、追分君、追分君と呼んで見たが、やはり声は無い、幽かに血の気は残つて居るようだが、手を触れて見ると既に冷めたくなつて居る。これから未だなすべき多くの事を残して何故君は死んだのだと思はず口をついて出る。

同君は翌日からの当社の機械部道内特約店会議並に役員会に出席するため本社への出張途中この事故に遭つたのだつた。事故の模様を関係者に聞くと同君の乗つた車とタンブカーとが衝突、其際ショックで頭部を強打、内出血で即死したとのこと。交通事故の恐ろしさを眼のあたりに見て唯茫然とするばかりでした。

追分君とは昭和十二年の高商同期だが、同君は地元小樽出身なのに私は三年間寮生活を送つた関係もあつ

て縁丘時代は之と云つたつき合ひはありませんでした。同君と本格的に交際が始つたのは私が北海道合板協会の東京支部長として上京した戦災の跡も未だ生々しい昭和二十二年でした。当時同君は榊新宮商行東京出張所長として合板の駐留軍納入に随分協力して貰つたし、また道内合板工場の取まとめにも努力して頂いた。

其後私は会社幹部並びに同君の契めもあつて、昭和二十四年同社に入社して以来十六年間勤務地は違つたが、同じ会社の飯を喰う仲間として今日におよびました。其間同君は終始東京に在つて出張所長から支店長更には常務兼支店長として会社発展の大きな推進力となり、特に林業機械の輸入販売を開始するや、その責任者として卓越せる企画力と旺盛な実行力とを以て当社今日の機械部門を築き上げると共に、吾国林業の機械化に貢献した事は、識者の均しく認める処であつて同君の死は当社の大きな損失といつても過言ではありません。全く惜しい人材を失つたものです。いまは唯同君の御冥福を祈ると共に後に残された年若き三人の遺児が同君の遺志を継ぎ、未亡人を中心に立派に成人されることを祈つて止みません。(新宮商行)

本間 諄一

(昭二二)

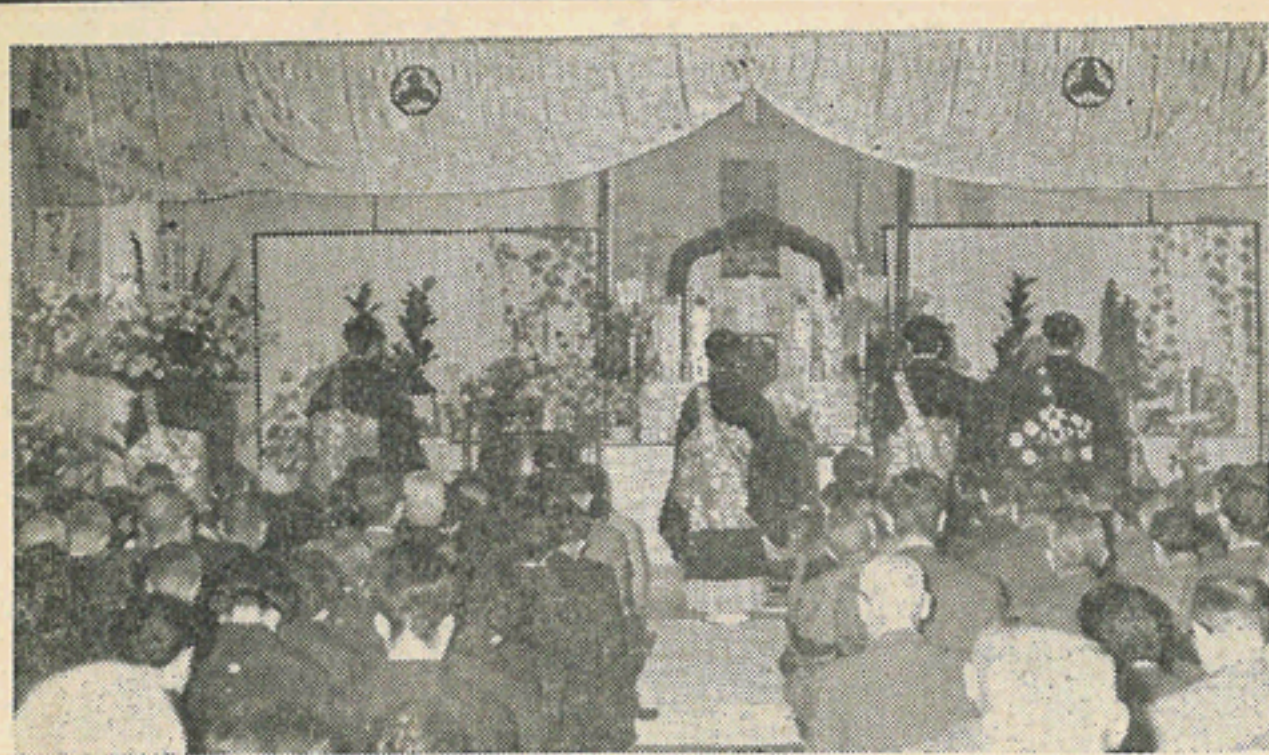
五月二十八日、午後七時頃榊新宮商行追分東京支店長が亡くなつたらしいとの連絡を受けた。そんな馬鹿な事かと思ひながら会社に照会する

追分君の霊前に捧げるの辞

追分君

君は今、家族、親戚、旧知多数の方々に囲まれて黄泉への旅に出ようとして居る。

交友四十年になんなんとする君に数々の思出をこめて涙と共に最後の言葉を捧げなければならぬとは全く予期して居ない事であつた。思えば君との交友は中学時代に始まり、小樽高商へと青春の学生時代に続き現在に至つて居る。学生時代はよく双方の家庭をゆき来したものだつ



た。君の青春時代は必ずしも順調であつたとは言えないかも知れない。家庭教師などいまでいうアルバイトの数々を経験し、苦学力行、しかも、その苦悩を他に訴えず、自主独立の気性と、勇往邁進の意気をもつてみごと突破して来た、この学生時代に現在の君の奥さんと知りあい結婚にゴールインしたのだが、アルバムをひもとくと君と撮した写真が数多く眼にとびこんで来るが、その君の顔にかぶさつて当時の君のはずんだ声も聞えて来るようだ。社会人となつてからも、いわゆる根性をもつて、業務に精励し、新宮商行において現在の地位をかちとり、友人間の羨望の的であり誇りでもあつた。君は君の名の示すごとく、実に努力の人であつた。

二十数年、小樽を離れて居た君が、君の青春時代を過ぎた小樽の地で、君の黄泉への旅を我々に見送らせる君、これを奇しき因縁といふのであらうか。社会人として我々友人のトップを切つて居た君が我々を残して、第二の世界へもトップを切つて旅立とうとは、君のこのことだ、第二の世界へも胸をはつて堂々と歩いて行くのだらう。その君の死出の姿を想像し、在りし日の君を偲びつゝ、燕辞を列ねて惜別の辞とする次第である。希わくば君が在天の霊よ、来り亭けられんことを。

友人代表 小田島一雄 (於小樽西別院)

追分務君のこと

岡田 一次

追分君との交友関係は、大正十年に、君の住んでおられた量徳町に、私達一家が移つて来た時より始まる。その年の初冬のみぞれの降る寒いある日の晩方に、量徳尋常高等小学校に奉職中の君の御尊父が、突然急死された。その時の君の御母堂の悲嘆の様子を、私の母より今でも聞かされる。それ以来、君は御母堂の

と、午後五時五十分才より札幌へ向う途中交通事故に遭つたとの返事、九時のニュースを待ち兼ねてスィッチを入れる。悲報を確認し、人の命のはかなさに胸をふさがれる想をした。四月末出張来樽の折、元気な姿で訪ねてくれ、また来月来樽するから同期会をと約束して行つた彼が、一ヶ月後に他界するとは信じられない気がする。まして奥様はじめ子供さん達も夢にも考へておられない出来事に何んなに驚いたことかとお通夜にお詣りして挨拶の仕様がなかつた。女二人、男一人のお子さんは、未だ修学中、よく話しておられた彼の子どものう振りを想出し、もし事故の瞬間意識があつたとしたら、ひらめいたのは家庭の事でなかつたらうかと本当に惜しい人を失つたと残念に思つた。

(北海道拓殖銀行小樽支店次長)

オリンピック以来
ユニークなアイデアを買われた!

各国代表料理缶詰シリーズ

MCC

世界の味

料理指導
江上料理学院長
江上トミ先生

居ながら楽しめる

各国代表料理の缶詰

- | | |
|-------|------------|
| 日本 | すきやき |
| ロシア | ボルシチ |
| イタリア | ミートソース |
| ハンガリー | ビーフシチュー |
| アメリカ | コンスープ |
| イギリス | トマトスープ |
| フランス | デミグラス・ソース |
| ドイツ | ハンバーグ・ステーキ |
| シリーズ | スパゲッティグラタン |
| インド | ビーフカレー |
| スペイン | スパニッシュライス |
| オランダ | いちごチャム |
| ポルトガル | ママレード |

只今!! 販売店サービスとして
異質業界で絶賛好評!!

販売促進用景品

(セールズ プロモーション)

各種セット組合せ調整



エム・シー・シー食品株式会社

代表取締役 水垣敏正 (昭五卒)

神戸市長田区苅藻通5丁目15 TEL神戸(67)1245(代)

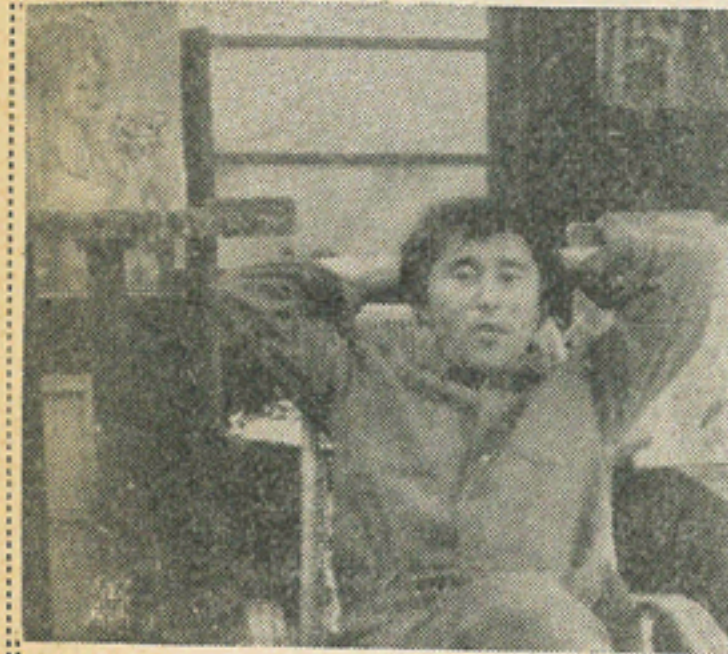
新発売
ホームカレー

卒業後も、勤務地が異なり、余り会う機会もなかった。同期会の時、その他七、八回程度、会ったことがある。小樽での私達小樽高商同期会はいまでも一年に数回の会合が行われ出席率も多分に近いが、はじめてこれを計画して、軌道にのせてくれたのは、追分君とこのことである。

この同期会のことであるが、あれは終戦後間もないことである。小樽で同期会があり、君は勿論参加した。君はその当時銭函に住んでおられたので、汽車の都合で、札幌のI君(この話は今でもI夫人に内緒になっているので、I君としておく)と一緒に、散会時より早く帰られた。翌日の朝になって、君とI君とが、昨晚帰宅しないことがわかり、終戦後のまだ物騒な時であったので大騒ぎとなり、皆で探した結果、南小樽駅の附近で、M・P・に中国人と間違えられて、一晚留置されていたことが判明した。いまでは、これも君を追憶する話の一つになってしまった。

三十七年の十一月五日に、君の計画の下で、小学校の同期会を開催した。君は当日東京より飛行機で、会場に駆けつけてくれ、招待申上げた二人の恩師に立派なお土産を持って来られ、恩師を非常に感激させた。散会后、前記の中垣君と私が、君に大変御馳走になり、たまたま私の母が、札幌より私の家に来ていることを知り、帰途わざわざ二人で、私の家に立寄られて、車を待たした短い時間であったが、私の母と小学校時代の話を、懐し相に話をしていたが

【表紙】



秦 森 康 屯

- 一九二三年 広島県三原市に生まる
- 一九三四年 独立美術協会に出品
- 一九五六年 独立美術二十五周年記念大賞受賞
- 一九五七年 朝日秀作展出品
- 一九五八年 鉄鶏会結成に参加
- 一九五九年 朝日新人展出品
- 一九六一一六五年 三原、尾道、大阪、東京にて個展

まだ昨日のような気がしてならない。昨年二月五日、中央ホテルでの高商同期会には、元気な姿で出席され、大いに気炎を上げておられたがこれが君との最後の別れとなってしまった。その時の記念写真を、いま取出して見ているが、写真の君は覇気満々であるのに、あのような事故で亡くなられたとは、誠に残念なことである。

君と私は四十数年の交友であったが、小学校時代を除いて、お互に離れて住み、その間文通もまた、会う機会も余りなかった。しかし、君と離れて住んで以来、私は懐しい君との思出をいつも心のなかに留めて来た。いま君と幽明境を異にした現在でも、私のこの気持は変わらない。

追分努氏 略歴

大正四年十一月生
小樽市立量徳小学校を卒業
昭和八年立小樽中学入学
樽中を卒業の年小樽高商に入学
昭和十二年卒業と同時に新宮商行

編集後記

に入社
東京出張所長(昭二十二)から支店昇格に伴い東京支店長(昭三二)となり取締役に就任(昭三四)三十六年十一月常務取締役、相前後して視察のため渡米す。(昭三五・三・八)

▽暑中御見舞申し上げます。
加茂学長(中央公論掲載)の年を迎え象界も亦この先どんな不況がやってくるか判りません。どうぞ緑丘人は健康で、そしてお互に情報を交換しつゝ対策を立て、下さい。それは緑丘会に参加することです。

▽昭一四北条恒一さん毎日新聞(東京版)「商工欄」税金を一ケ年執筆連載の予定、七月十二日森脇脱税を切る。(紙面なく次号に発表)

▽来年の緑丘全国総会は関西を中心。大阪支部担当でプランを練る。各年次の会合はこの総会に便乗せられたし。

▽マツキンソン先生日本招待はみなさんの力で是非実現させて下さい。

株式 新 宮 商 行

取締役社長	坂口 栄之助 (昭17卒)
常務取締役	美浪 治郎 (昭8卒)
取締役	三浦 種夫 (昭4卒)
"	佃 弘 (昭12卒)

本社 小樽市稲穂町東7丁11番地
営業所 大阪、福岡、郡山、盛岡

支店 東京都中央区日本橋通1の6北海ビル
工場 銭函、釧路、美幌、古丹別、東京